

渠は四六時中の十八時間を勤勞の爲に供したるアレサンドル、スチエ
 フートの如き模型に非ず、又日々四時間の睡眠を以て満足するを得た
 るナポレオン、ボナパルトの如き品彙にあらず。事あれば連宵の徹夜
 も却て益々精神の活躍を覺ゆる程なれども、本來能く寐ね、能く遊び、能
 く働くは渠の主義なり、故に渠の活動に用ゆる時間は人に超ゆること
 左まで多からずと雖も、渠は此時間を最も多量に、又最も有益に利用す
 るの頭腦を有せり。
 渠が頭腦の活動を見るに、断えず跳躍して宛ながら閃電の應接に暇あ
 らざる如し。其事務室に在るの時間は甚だ長からずと雖も、其の長か
 らざる間に於て千轉萬廻、永く一脚の机に向ふことは殆んど稀なり。
 一の仕事より他の仕事に飛び一の計畫より他の計畫に移るの疾迅な
 る。猶奏樂者の指頭が断えず活動飛跳して、一の譜より他の譜に飛ぶが
 如きものあり。而して其事務室を離るゝの前には、既に大小幾多の業

閃電の如し

輪轉機械

務を處理驅逐して、時には渠が事務室を去ると同時に、天下の財界は渠
 が一片の電報によりて動き初むることすらあるなり。
 渠は決して沈吟せることなし。或計畫に付て頭腦一たび廻轉する時
 は猶輪轉機械の如く、滿腹の經綸を一氣に吐き出すを常とす。聞く會
 て鋼鐵會社の事に就て契約證書を起草せることあり、渠辯護士をして
 傍に侍らしめ、自から口授して之を筆記せしめたるに、辯護士の達筆も
 渠が口を衝て迅速に説き出す計畫には殆んど追従する能はざりしと
 いふ。

他は一廻
渠は百廻

渠の勤勞する時間は人より多からず、然れども此時間に於ける活動の
 分量は何人と雖も渠に及ぶ者あるべからず。他人の頭腦が一分間に
 於て一廻轉すれば渠の頭腦は百廻轉す。渠は世界に於て同じ一分間
 に最も多く且最も大なる活動を爲し得る人なり。他人の一日は渠の
 一分時なり、千里の江陵一日還、他人に在ては一生の事業も渠に在ては

一日の事業なり。

(卅四) 如何なる難事も一分間にて解決す

問題の主

頭腦の廻轉既に飛ぶが如く又跳るが如し、如何に複雑なる問題も其要領を會得し、其可否を裁斷するは極めて短少なる時間にて足れり、普通事件に至ては未だ説明の半ばをさへ終らざる間に早く既に問題の完全なる主人となるなり。

渠が如何なる來訪者にも多くの面會時間を許與せざるは、一は身の多忙然らざるを得ざるに因るべしと雖も、又一は渠の頭腦が能く短少なる時間を以て談話の要務を辨じ、面會の目的を達するを得るが故なり、渠は他人が數時間を費すにあらざれば能く會得する能はざる問題をも、僅に數分間にて了解するの頭腦を有せり。渠は他人が數回も足を勞して決答を迫るにあらずんば、能く裁斷する能はざる難件をも僅に

立談の間

立談の間に解決するの即斷を有せり。

目も止まらず

若し何等かの要件を帯びて渠を訪ふ者あるときは、渠は輕き一禮の後先づ對手をして簡潔に要務を語らしめ、己は唯緘黙して客の風采態度を凝視するのみ。應がて自から了得する所あるや、客の説明尙半ばを終らざるに、輕く之を制して曰く「既に之を解せり」と、客驚て暫く口を噤めば、渠直に一刀兩斷す、而して裁決一たび下れば、動かざること山の如し。其快捷なる所謂「目も止まらず」といふもの、則是なり。而かも渠は未だ會て人に欺かれたることなし、米國の一新聞は曰く「若しモルガン氏を欺き得たる者あらば、單に欺騙の顛末を語るのみにて、大入を博するの興行を爲すを得べく、依て以て利を收むるを得べし」と

會て一人の仲買あり、生面を以て渠を訪ひ、擔保の品目を列記せる書類を提供して資金の融通を渠に求めたり。其額を問へば普通の小銀行が一年間に營業取引する總額よりも更に巨大なるものなり。渠對手

唯神速に

の説明を聴くこと僅に數語。俯して擔保書類を通覽して輒ち首肯して曰く『諾』と、一語既に萬事を了せり。此間約一分間、仲買は渠の快諾を得たるを喜ぶよりも寧ろ其神速に驚くのみ。

(卅五) 最初の一言は則最後の一言なり

最後の告知状

渠の大事に對するや固より駈引なきにあらず、然れども日常出沒去來する紛々の事件に對しては最初に發したる一言、即是世人の所謂最後の一言なり。其間何等の駈引なく、押問答なく、外交的談判なし。渠の多忙なる、渠の果斷なる、猶利刀の大竹を剖て進むが如く、實に外交的談判を容るゝの餘地を與へざるなり。則ち最初に發する一言は直に是ホルチメイトムなり、最後の告知状なり。

ビスマークに酷似す

往て之を渠に圖れり、渠例の如く極めて神速僅に對手を一瞥するや輒ち曰く『君の不動産ならば……弗を拂はん』是最初の一言にして又最後の一言なり。對手復談判の餘地を見出す能はず、取引は此一語にて決了せり。此間の機微頗る、ビスマークに酷似す。

成功の盛觀

(卅六) 渠にして死せば如何

ウヰルヘルム陛下百歳の後に於ても獨逸は決して分裂するが如きことなかるべし。チエンパーレン逝くも英國は決して動搖するが如きことなかるべし。ルーズヴェルト逝くも米國は決して混亂するが如きことなかるべし。カーチギー逝くも鋼鐵事業は決して衰退することなかるべし。然れどもピヤイポント、モルガンにして一朝瞑目すれば則如何。其影響の激甚なる、其波動の慘烈なる、世界の大帝大政治

一死萬亂

歴山大帝

家の遠逝と雖も、遠く及ぶ所にあらず。渠の一死によりて、生ずべき資本の混亂事業の動搖を想像するときは、歴山大帝の死によりて、歐亞に跨る一大帝國の土崩瓦解四分五裂したる當時の慘況に想ひ到らざらんと欲するも能はざるなり。

西語に曰く、天下の道は羅馬に集ると。現代經濟の渠に於けるは猶古昔天下の道が羅馬に於けるが如し。渠は米國經濟の中心なり。歐洲財界の黒幕なり。歐米經濟の利害は一に渠の人物に向て集注しつゝあり。十九世紀に於て尊て夢想する能はざりし資本の大集中事業の大合同は、時勢之を促したるにも因るべしと雖も、鋼鐵トラスト、鐵道トラスト、航業トラストの如き大事業の現出は、一に渠が大鵬の姿能く時勢の主人となり、亂濤を捲き長風に鞭ち以て世界に於ける經濟財政の潮勢を一變せしめたるに因らざらばあらず。想ふに此資本の大集中事業の大合同は世界の財界に取りて、惡魔となるか、將た天使となるか

タイタン

今遂に豫測する能はずと雖も、土崩瓦解の遂に來るの日あるは蓋し想見するに難からず。而して其土崩瓦解せざるは唯渠の宏才偉器能く之を統轄指導するあるが故のみ。財界の信頼を一身に負ひ千百の事業を双肩に擔ひ、治亂の關鍵を双手に握り、數十億の大資本を股掌の間に操縦す。實に是蒼窮を双手に撐ぐるのタイタンなり。宜なる哉世人が渠の一去一來を見ること宛ながら天變地異を見る如く、新聞に、雜誌に、演説に、談話に、日として渠の名の繰返されざることをなさや。また盛なりといふべし。

(卅七) 生命保險の身體検査

一 昨年の事なりき、狀貌魁偉なる米國の一紳士は、紐育より英國に渡りて倫敦に上陸し、飄然として或ホテルに入れり。翌朝の英國新聞は一齊に『トラスト王來』を掲載し、渠が渡英の目的に就て揣摩百端す。スレ

渠の生命
を保險す
べし

ツドニードル街の仲買人等密に相議して以爲く、此人の健康に若し不慮の異變あるときは、動搖の波瀾必ず市場の全面に及ぶべし、宜しく渠の生命を保險して萬一の場合を保護すべしと。依て渠の承諾を請ひ、直にロイド保險會社に走り、三月掛にて千磅に對し三十磅宛拂込むの割合にて、渠の生命に對する保險の契約を爲し、以て米國に於ける投資の將來を安全ならしむるの手段を取れり。渠亦笑て之を諾し、身體検査を受たりといふ。零碎の逸事も以て渠の一身が財界の治亂と如何に重大なる關係を有するかを推想するに足るなり。

(卅八) 皆是モルガン宗の信者なり

ヴァンダービルト、ドレキセルを初として米國三千の富豪中其大半は資産の運用を渠に依託せざるはなし、鋼鐵業トラスト、航業トラストを初として大小二百のトラスト中其主力は渠の人物勢力に信賴するも

渠は其人

千山万岳
朝荆門

のにあらざるはなし、米國の富豪資本事業の多くは皆是モルガン宗の信者なり。資本は人を得て生動す、人を得ざれば往々にして畏縮し、臆病となる、巨利を欲する者殊に然り。故に必ず成功の美果を齎すべき信用ある敏腕老手を選んで之に信託せんと欲するに至る。渠は則其人なり。米國の富豪資本事業が相争ふて之に其運用指導を信託するの狀所謂千山萬岳の荆門に朝するが如し。渠は千山を統べ、萬水を呑み、而かも操縦自在、多々益々多きを厭はず。隨て其勢力の廣大なる表面渠とは何等の關係なきが如きの所に於ても、一たび裡面を探求せば又渠の潜勢力を發見すると、猶地を鑿れば往く所として水ならざるなきが如きものあり。モルガン宗の信者は語て曰く、如何なる鐵道會社と雖も、渠若し其實權を握らんと欲すれば僅に一枚の株券を所有するのみにて優に之を爲し得べしと。又其統轄せる事業の中には、利害の反對せるものすら少なからず。例へばゼネ

ラル、エレクトリツク電気會社は、ロレン製鋼會社と相反す、ペンシル
ヴェニアの石炭運送線中にも互に、相背馳せるものあり、是等は必ず渠
が遠逝の當日より分裂對抗して、激裂なる競争を惹起するに至るは疑
ふべからず。しかも此く反對せる利益をも猶且連結せしめ之を統轄
し之を操縦して利益を興へ、満足を興ふ、モルガン宗の歸依者たらざら
んと欲するも能はざるなり。

(卅九) 千傑萬豪皆駕を枉げ來る

渠は事業界の帝王なり。其事務的會見は訪問するにあらずして引見
するなり。如何なる重大の問題も、如何なる高位の談敵も、渠が自から
駕を枉げて他を訪問したることは極めて少なく、多くは己が事務室に
在りて他の訪問を受るに止る。故に渠の事務所は來客旁午、宛かも停
車場の待合室の如く、客影の斷えたることなし、仲買人あり、銀行頭取あ

訪問引見

國務大臣
枉ぐ亦駕を

り鐵道會社長あり、其他種々の事業家あり時としては國務大臣をすら
其中に見ることあり。渠は順次此等の訪客を引見し、短きは一分時間
長きも三分時間の制規を以て會談を終り、其引見する能はざるものは
電話を以てし、電報を以てし、書面を以てし、復自から往訪するの必要を
認めず、大藏大臣の如きは國家財政の問題に就て往々渠の助言を求め
明識を借ることあるも、曾て其枉駕を望めることなく、必ず自から往て
之を訪ふ。是渠が帝王的尊嚴を示さんと欲するが故に然るにあらず
唯其の帝王的勢力自から之を致すのみ。

成功の功德

(四十) 渠の脚本には必ず一幕の悲劇あり

米國の或一部に於ては渠をゼ、ゴールドに比するものあり。ゴールド
は三十年前の米國に、商界の那翁を以て稱せられ鐵道王として、殊に投

ゼ、ゲ
ルドが

トラスト大王モルガン成功の功德

冷酷

機王として、險腕竦手向ふ所前なく、鐵道を破壊し、富豪を蹂躪し、腥風を捲き、慘雨を漲せる財界の怪魔にして、其名は今猶聞く者をして戰粟せしむるに足る。渠は果して此の如き乎。

米人は必ずしも悉く渠の崇拜者にあらず、渠を以て殘忍冷酷の怪魔なりとする者は必ずしも進歩と貧困を絶叫する社會黨のみにあらず。而して此等の惡聲は一面に於て拒むべからざる事實なり。渠は幾多の事業を破壊したり、幾多の同胞を蹂躪したり、幾多の富豪を破産せしめたり。其敢然として邁往し、驀然として突進するときには冷情鐵の如く、硬腸石の如く、何等の慈悲も其心を動す能はざるなり。渠の背後には定めし敗者の怨靈あるべし、渠の脚下には定めし悲鳴の叫喚あるべし、渠の仕組める脚本には必ず一幕の悲劇あるは事實なり。

(四十二) 渠の主義理想

同日の論
にあらず

然れども渠はグールドの如き賤陋なる人格にあらず。觀察の神通稍、相同じく、手腕の辛竦稍相同じく、情懷の冷硬稍相同じく、蹂躪の形勢亦稍相同じくと雖も、彼は猶雨後の洪水の如く、此は猶自然の大海の如く、人格の高低、器局の大小固より同日の論にあらず。グールドは利己的なりしも、渠は愛國的なり、グールドは魔術的なりしも、渠は紳士的なり、グールドは投機師なりしも、渠は資本の指導者なり、渠は小疵あれども大醇なる所あり、細瑾あれども大行を樹つるに熱心なり。グールドは破壊的なりしも、渠は建設的なり。

資本の省
貯

渠はカーチーギーの如く、其主義理想を筆舌の上に表彰したることなし、然れども其事業は筆舌よりも更に明白なる説明者なり。米國の經濟界に於て、人力の許す限り、資金の浪費を省貯せんと欲するものは、則ち渠の主義理想なり。生産上の節約なり、經營上の節約なり、經費上の節約なり、競争の進歩を伴ふこと固より言ふを待たず。然れども分立閱

心に忘れ

増して資本を浪費することは國際競争の激甚なる今日に於て最も恐れざるべからず。渠以爲くトラストは生産費を減少し、經營費を減少し、運賃を減少す、而して其結果は更に物價を低廉ならしめ、物品を普及せしめ、公衆を利益せしむと、是渠が如何なる形式と方法とを以てするに係はらず、一手を擧げ一足を投ずるにも、猶且つ心に忘れざる所、其合同に反對せんとする者あれば直に之を蹂躪し、又競争の發生せんとするを見る時は其間に投じて之を聯合せしむるものは、唯之によりて競争に伴ふ資金の浪費と事業の損失を避け、更に合同より生ずる資金の省貯と事業の利害を得せしめんが爲めのみ、渠はゴールドの比にあらず。

(四十二)

ゼ・オールド・マン

颯然たる怪風時々米國の財界に殺到することあり。老練なる財海の

の神

船師は皆曰く、モルガン風[△]到れりと、渠は實に風の神なり。然れども猛烈なる恐慌の暴風より米國を救ふ者も亦此風の神なり。恐慌米國に襲來し暴風地を捲て走るに至らば渠必ず其巨大なる資力と偉大なる信用とを齎して財界の難に赴き、救済の任に當り、直に之を鎮靜せしむ。千八百九十九年の冬猛烈なる恐慌米國の財界に襲來せり。銀行は破産し、金利は激騰し、貸金は百八十六パーセント以上に達し、天地晦冥、四顧暗慘、人心洶々たり。然れども渠一たび出て、斡旋すれば、巨額の資金は忽ち供給せられ、市場の信用は忽ち恢復せられ、さしもに猛烈なりし恐慌も直に鎮靜に歸するに至れり。渠は米國の財界に於けるパランスホパールなり。恐怖の鎮定を見る毎に財界の船師は皆曰く「元老」の力なりと。

パランスホパール

(四十三)

カーチギーの讚辭

トラスト大王モルガン成功の功徳

急 邦家の危

カーチギー曾て事業の功徳を論じ、中に大銀行家を讚美して曰へり、姑く金融に關する業務を經營する者を見よ、資本を放下する所千種萬類の功益の波及する所多種多様、或は證券、或は商業、或は工業、或は鐵道皆之が貸付によりて活動の力を得せしめ、其信用の廣大なる、宇内列國の間に施及し、其一片の書牘は、能く旅客をして數千萬里の外に往來せしむるに足る、更に其大なるものに至ては、危急存亡の日に際して、邦家を將に滅せんとするに濟ふこと、彼の米國の革命戦争に大買リチャード、モリスがワシントンを救ひたるが如きことあり、今日と雖も大銀行家にして政府を危急の日に援助し、以て災殃を未發に防ぐか如き其例少なからず、是豈人生至大の愉快にあらずや」と、是疑ふまでもなく、渠の爲に言へるなり。渠は、財界の恐慌を救へるのみならず、又政府の困厄、危急をも救へり。此事は渠の効績として最も光輝あり、且つ最も特筆に値す。

(四十四) 三たび國家の危急を救ふ

第一回

渠が政府を危急の日に援助し、以て國家を激甚なる財政困難より救出したること、過去廿五年間に於て前後三回に及べり。第一回は千八百七十六年にして、政府が公債借換に要する現金の主要なる供給者となり、又内亂以後の困難時代に政府を助けて、遂に米國幣制の大本たる金貨本位の基礎を立つるを得せしめたり。第二回は千八百九十五年にして、上下共に恐慌の後を承け、正貨は續々海外に流出し、世人は大藏省の鞏固をすら疑はんとしたる時に於て、渠は他の銀行家を率ゐて、四億圓の政府公債を買受け、之を金貨拂として、出來べき丈資金の海外に濫出するを防ぐべきを約し、遂に國家をして此一大難關を無事に通過せしめたり。第三回は千八百九十六年にして、渠は恐慌再襲の形勢あるを察し、再び政府に金貨を供給せんことを提供し、市場の希望が正貨よ

第二回

第三回

衆難四起

報酬は寧ろ少きに失せり

りも寧ろ公債に傾けるを見るや、直に書を時の大統領クリーヴランドに致し、何時にても赴援助力に躊躇せざるべきを述べたり。

此等の舉作が果して「義舉」と名くべき性質のものなりしや否やは茲に論究するの要なし。リチャード・モリスは國家を救へる爲に悪名を受けたるとなし。然るに渠は新聞雜誌より激烈なる攻撃を蒙れり。是言ふまでもなく渠が政府の危急を救ふと同時に其自から利益せる所も亦頗る莫大なるものありたるに因る。曰く渠は國家の災厄を奇貨として私利を營めり、曰く渠は政府の困窮に乗じて不正不當の暴利を貪りたりと、衆難は四方に起り、新聞紙の筆は政治家の舌と相和して、遂に國會の問題にまで上るに至れり。渠即ち昂然として辯じて曰く「誰か敢て余を不正なりといふ、余の受ける報酬の如きは其計畫と危険とを計量するときは寧ろ少きに失せりと。渠非なる耶、世論是なる耶、茲には唯政府の困厄國家の危急が渠の赴援によりて救済せられたる事實

を明白ならしむれば足れり。

成功者の面目

(四十五)

渠の城廓たるモルガン商會の光景

金の湧く街、富の實る巷と世に謠はる、紐育のウォール街とブロード街との交差せる所、右に建國の神ジョージ・ワシントンの銅像巍然として半空に聳立せるを眺め、左に富の戰場株式取引所の結構美極め贅盡せる建築を望み、車聲、馬語、人影の盤渦參差せる大街を俯瞰して、宏壯なる、而かも稍古風なる建築の一角に立てるあり、是れ則ちモルガン商會なり。

渠は日曜を除くの外、毎日必ず此處に鎮座して、其事務室より天下を操縦し、指導し、驚動せしめつゝあり。渠の鎮座する所を中心として方三

金の湧く街ウォール

毎日出勤

トラスト大王モルガン成功者の面目

四町の間は、米國に於ける富の焦點にして、最富の銀行、富豪の事務所、櫛比駢列して、妍を競ひ、華を鬪はし、米國の銀行、鐵道、製造、貿易等は皆此處より指揮經營せられ、北米、南米、歐亞、濠洲、さては亞弗利加に至るまで、凡そ東西兩半球に亘る數百萬弗の大事業も亦刻一刻此處に取引せられつゝあり。

(四十六) トラスト王の鎮座せる事務室の光景

玻璃室
何人も渠を見るを得

渠の事務室は商會の第一層に在り、室は差して廣からず。四面皆玻璃主人の聰明座して世界を見るを得ると同じく、四壁の透明居ながら室外を見ることを得べし。人は之を呼んでモルガンの「玻璃室」といふ。渠が室内に座して室外の出來事を見る如く、室外に在る者も亦刺を通じて自由に渠の風采動作を見ることを得。其權勢は以て帝王を

獅子

山中の人
の如し

凌ぐに足るべくして、其居る所は則高殿深宮にあらず。其近づき易く、其の見え易きは渠が商會の店頭に在る書記と殆んど大差なし、此の如きは平等を重んじ階級を卑む米國の富豪中に在てすら多く見ざる所なり。事務所の前面には日として探奇的群衆の雜沓せざることなし。彼等は固より何等の用事あるにあらず、唯トラスト大王の玻璃室を覗ひ其風采を見、其容貌を見、其動作を見、而して又大王の呼吸する空氣と同一の大氣を呼吸して満足せんと欲する好奇者のみ。猶動物園に獅子を見、虎を見て、其神采威貌に恍惚たると何等の異なることなし。渠はウォール街の獅子なり、仲買人等渠の玻璃室を呼んで「玻璃檻」といふ、猶獅子の檻中に在るが如しといふなり。然れども檻中の獅子が毫も見物的群衆に注意せざるが如く、渠は此玻璃室の中に在りて、冷然たること宛ながら山中に獨處する如く、渠に關

する評言は善悪共に之を馬耳東風に委し去りて全く知らざるもの、
如く唯孜々として其業務に精勵するを見るのみ。

(四十七) トラスト王の風采容貌

身長胸廓

前額

渠の容貌を一見したる者は何人と雖も渠が今日の勢力權威に上るの
偶然ならざるを首肯すべし。身長は中庸なるも胸廓は濶くして且厚
く、如何なる活動にも決して疲勞せざる精力の貯炭所たるを示す。前
額は深く禿げ上りたるにあらずやと怪まるゝまでに廣き面積を有し
て大なる頭腦に連なり、世界が會て見たることなき多大の計畫を編製
する策源地として最良の模型たるを思はしむ。大なる顔面は頑丈な
る肩に密接し、其上には高く且太きゼルマン形の鼻居然として要地を
占領し、濃く蒙茸たる眉毛の下に、電光の射るが如き炯々たる灰色の眼
殊に際立ちて權威の相を見はし、口は緊く結びて決斷の非常なるを示

鼻、眼、眉

口、頤

鬚、髭

神采奕々

せる額は鬪狗のそれに酷似し、偶然にも天成の鬪將たる渠の性格に一
致するは奇なりといふべし。渠の友人は其鐵蹄の形を成せるを見て
又鐵蹄作りの額といふ。頭髮は鐵褐色を帯びて薄く、髭は常に刈られ
て短し、一言以て之を掩へば狀貌魁偉、渾身皆膽神采奕々として人を襲
ふ。

常服は華美ならず、去りとして又必ずしも質素ならず、概ね英國仕立の服
を纏ひ、宛ながら大急ぎにて着服したるが如き觀あり、少しも邊幅を修
飾せず、又修飾に苦心するの暇を有せず。

(四十八) 渠が言語動作の兩面

渠を事務所を訪ふ者は、未だ室に入らずして、渠を玻璃の内に見るを得
ること既に之を述べたり。然れども渠は客の室内に入るまでは毫も
來客に注意することなく、其の室に入るに及んで始めて之に氣付ける

眼炬の如く
耀光する人

如く、輕禮を以て之を迎へ直る默聽の姿勢を作り、三分間を最長限度として客の求むる所を語らしめ、其間客の風采態度を凝視して動かさず、兩眼炬の如く、靈光爛として人を射る。

渠極めて寡言、言へば必ず簡にして鋭多くは唯一語を發するに止る。『然り』『否』『諾』『不可』等の如き則是なり。其長きに至ても僅に一句を成すに過ぎず、而して『否』の一語は其最も寵用せらるゝ所なり。

「アイ」の一語
銃殺の刑

交渉の用務を帯びて渠を訪ふ者は殆んど銃殺の刑場に引出されたるが如き心地すといへり。一たび渠の爛々たる眼光に凝視せらるゝや身は是客として渠と對話するにあらずして、渠が射撃の標的となりたるものなり。渠は默然として其鋭き視線を此標的に集め、決する所あれば、爆然一發以て萬事を了す。一閑話なく、一冗話なし。渠の斷言は宛ながら銃聲の如く殊に『否』の一發、殆んど對手をして神死し氣絶ゆるの想あらしむるといふ。

一仲買

一教僧

社交上の
渠は別人の
如し

一種の談
話家

一仲買人あり曾て事を以て渠を謀らんと欲し往て見る、退て人に語て曰く『余は渠の前に出づるや自から語の出づる所を知らず、爛々たる渠の眼光は絶えず余に凝注せられて、宛ながら肺腑を照破せらるゝの想ありし』と。一昨年炭坑の同盟罷工あるや、一教僧あり、抗夫の爲に渠に説く所あらんと欲し往て之を訪ふ、又歸て友に謂て曰く『余は多くの恐るべき人を見たり、然れども未だ曾て渠の恐るべきが如くに恐るべき者を見たることなし』と。然れども舞臺一轉すれば言動も亦全く一變す、事務室に在ては宛ながら斷岸千尺攀づべからざるが如き渠も、一たび社交の間に出づれば平蕪迢々草烟の如く、胸襟を披き懇懃に語り、事務所に於て聞くが如き簡卒、急促、勁烈なる語調は殆んど痕跡を留めず。其卓を圍み、杯を舉げ馬を論じ、美術を語るに及べば、縦論快談、又是良好なる一種の談話家なり。

成功の餘波

(四十九) 英雄首を回せば則神仙

日曜の安息

平日の獅子
平日の獅子
平日の獅子

平日は商戰場裡に座斷して、虎を搏ち龍を屠る渠も、日曜日は四海兄弟の安息日として、渠は家族と共にパーク街なるエビスコバル派のセントジョージ寺院に詣で、渠が一分間に儲け得る程の金額をも生涯を懸けてすら蓄積する能はざる貧者と椅子を駢べ、エホバを讚美し、熱心に祈禱を捧げ、説教を謹聽し、説教後教會の爲若くは慈善の爲に寄附金を募集することあれば、渠は片手に銀の盆を捧げて、會衆の間を歴巡するを常とせり、平日には獅子の如く猛烈なる渠も、日曜日には綿羊の如く柔和となるなり。

渠の敬虔は祖父ジョン、ヒヤポントの遺風を享け殊に母ジュリエットの感化に成りたるもの多し、渠はセントジョージ寺院の評議員にして同院の牧師レンスフォード博士とは頗る相親しく、事あれば如何なる補助も敢て吝む所にあらず。又日曜學校の兒童に對して一種異様の趣味を有す、其千金の時間を割て、或は彼等の催す夜會に出席し、兒童を相手に快談酬興返るを忘れ、或は彼等を拉して市街に出て商業實務の講義に耽るに至ては座ろに、英雄は小兒の如しの句を聯想するを禁ずる能はざらしむ。

(五十) 孤帆片影滄溟に没す

渠は又成功の要素として運動の利益遊戯の効力を解するの一人なり、渠は能く勤め能く遊ぶ其繁忙なる劇務と應接して少しも倦怠屈託の色あるなく、綽々として、餘裕を見る所以のものは時に忙裡の一閑を利用して、常に神氣を清新にし、絶えず精力を貯藏するに因る。而して其最も愛好する遊戯は遊船を驅るに在り。

トラスト大王モルガン 成功の餘波

英雄は小兒の如し

遊戯と成功

遊船

ア
コ
ル
セ
ー
ア
號

遊船は英米の富豪が海上の別荘として、巨資を投じ綺麗を競ふ貴族的
遊戯なり。渠の囊に所有せし遊船コルセーア號は、米西戦争の際政府
の御用船を勤め、グロースターと改稱してサンチアの役に従軍し勳
功拔群なりしを以て頗る有名なり。渠は遊船の嗜好家たると同時に
又遊船の通人なり、其第二コルセーア號を建造するや、設計及工事は巨
細となく自から之を指揮監督したりといふ。渠は又紐育遊船俱樂部
の總裁たり。同俱樂部の新築敷地は渠の寄附せる所なり、若夫れ天晴
れ氣澄むの時、身を百忙の重圍に脱し、コルセーアの甲板に一個の水夫
となりて自から帆を張り舵を操り、滿船の順風矢よりも疾く、孤帆片影
滄溟に没するを見ては誰れか復世界第一多忙家たるを知るものあら
んや。然れども渠の頭腦は半日の遊船に耽るべく餘りに活動的なり、
從遊の者時に渠の久しく甲板に出て來らざるを怪み、密に往て其小房
を窺へば、渠は既に簿書堆裡の人となりて、記録數字の玩弄に餘念なし

餘
り
に
活
動
的

といふ。

(五十二) 一犬萬金に値す

愛馬

愛犬

渠は船を愛すると同時に又頗る馬を愛す、渠の厩には常に數十頭の駿
馬飼養せられつゝあり時には馬を郊外に驅り、時には駿馳に鞭ちて街
頭を馳驅するを見る。而して渠は愛馬家たると同時に又た愛犬家な
り。殊にコリー種の犬を好み、ウエストポイントの附近、ハドソン河
畔の別墅に隣れるクラグントン、ケンネルは渠の有名なる犬小屋にし
て歐米の愛犬家之を知らざる者なし。而して茲に飼養せらるゝ良犬
は時として渠の進物に供せらるゝことあり、聞く渠が他人に對して尊
敬の意を表する外形は其郷里に成長したる愛犬を贈るに在りと。故
に若し渠よりコリー種の良犬を贈らるゝ者あらん乎、其人はトラス
ト王より最も貴重なる進物を受けたるものなることを知らざるべか

らず。

(五十二) 一本のシガー價三圓

豪奢

社交の花

葡萄酒の鑑識

渠の生活は寧ろ豪奢といふを當れりとす。蓋し致富は渠の目的にあらず、其事業は渠の信用、勢力、才幹を傾瀉して、財界を左右し、驚動し、顛倒せしむるに在るを以て單に蓄財致富を成功の標的なりとする尋常富豪の生活とは同日の論にあらず。渠は紐育に於ける紳士社交の花なり。何々俱樂部といひ何々會といひ凡そ名ある社交の團體には渠の關係せざる事なし。其多忙なる身世は固より一々此等の社交會に出席應接するを許さずと雖も、時には渠自から會主となりて幾十億の資産家を一堂に集め、置酒高會以て王侯の豪奢を極むることなきにあらず。パーティを好み、葡萄酒の鑑識に長じ、殊に非常なる喫烟家にして、一抹の輕烟に草葉の産地を識別するの妙技あり。其日常用ゐる所の

喫烟王

シガーは専門老練家が特に製作せる所にして、一本の價六シルリングを値し米國第一の喫烟王なりと稱せらる。

(五十三) ポケットの金貨滿拳

デーノの佳景

モルガンとは何人ぞ

渠の歐洲に赴くや、時に身を名奔利走の巷に脱して、山紫水明の閑地に行吟する事あり、殊に佛國の北部ノーマンデーの佳景を愛し、屢々箝をゾナンの古都に曳き、孤杖飄然名所舊跡を探る。一年渠自から同地方の嵐光翠色を撮影し、其原版を完整せしむる爲一人の寫眞師を僦ひたることあり。寫眞師固陋寡聞にして未だモルガンの如何なる人たるかを知らず。寫眞調製の後或は日當の支給を拒むが如きことなきやを慮り、窃に街の銀行に走り、支配人に就て現下來市中なるモルガンと稱する米人に關して何等か知る所なきやを問ふ。支配人驚て曰く「何にモルガンと稱する米人なりと？」寫眞師曰く「然り、姓はモルガン、名は

滿拳の金
千フラン
の紙幣

たしかピヤーポントと記憶す』支配人曰く『正しく然る乎。誰れか之を知らざらんや』寫眞師曰く『貴下之を知る？然らば再び問ふことを容せ渠は果して約三百フランの支拂に對して信用するを得べきや、如何支配人曰く『僅々三百フラン、請ふ戯るゝ勿れ渠の信用は天高く海深く廣大無邊にして測り知るべからず』と寫眞師吃驚走り歸て之を婦に語り、以て其無事を慶す翌日渠寫眞師を其家に訪ひ告げて曰く『余は是天外異境の客、或は吾子の余を疑はんを恐る、茲に少額あり、聊か以て豫約の質とせん』と。乃ちポケットを探りて出す所のものを見るに滿拳の金貨燦爛たる外に、猶尠然たる千フランの紙幣あり、寫眞師其意外に驚く。

(五十四) 茲に千フランの手形あり

一把千フランの逸話は猶之に止まらず、ノルマンデーの農家往々にし

古器物

瓦礫と千
フラン

てノルマンの古器物を藏す、渠徜徉の傍ら時に農家を訪ひ、農夫と語りて器具を見んことを求め、一たび鑑賞に入るものあるときは購ふに復た價を擇ばず。一日一民家に入る、一古器の凡器と伍を爲して常用に供せらるゝあり、渠直に主婦に謂て曰く『好古器なる哉、購ふに幾許を要すべきや』主婦曰く『敢て賣らんと欲するにあらず』渠曰く『或は然らん、然ども余は之を獲んことを望む、敢て價を問はず願くば余に購ふことを許せ』主婦曰く『是瓦礫のみ、何の價か之あらんや』渠曰く『余は此瓦礫を求む、好し、茲に千フランの手形あり、以て聊か代償と爲さん』と渠の名爲にノルマンデーの三家村裡に高し。

(五十五) 美術的トラスト

美術品の蒐集に對する熱心は殆んど渠がトラストに對する熱心に譲らざるものあり。凡そ金力を以て得らるべき、珍奇なる古書、珍奇な

美術品の
蒐集

る古畫珍奇なる古器にして一たび渠の耳に入るものは、決して之を逸せしめず、其廣大なる圖書館は書籍、畫幅器具其他の美術品を以て填充せられ、隨て珍品佳什頗る多く、中には世界に有名なる繪畫も亦少なからず例へばゲースボロ作の、デヴォンシャー公爵夫人の肖像に對して六萬圓を投じたるが如き渠に在ては敢て珍らしとせざるなり。然れども渠は必ずしも自から之を所藏せんと欲するにもあらず、織物に關するものは之をクーパー、ユニオン館に、寶石に關するものは之を米國博物館に、希臘時代の裝飾物は之をメトロポリタン美術館に寄送して敢て吝むの色なし、自から曰く天下の名品珍什之を散逸に附するに忍びずと。

(五十六) ミリオチヤアの義務

米國の或富豪が寄附慈善の行爲を以て罪業消滅の手段とする如きは

一千万圓以上の寄附

渠の固より冷笑する所なり、故に寄附金の兒戲的競争は敢て之を爲さずと雖も、渠は能くミリオチヤアの義務を知る者として又米人の間に令聞あり有名なる紐育商業學校は實に渠が百萬圓を投じて建立せるものなり、之に次ではハーヴァード大學の醫學部に二百萬圓、セント、ジョージデ寺院に百萬圓、同寺院の近くに在る病院に二百七十萬圓、ルミナス病院に百萬圓、青年耶穌教會償却補助に二十萬圓、父の誕生地たるマサチューセツト州のホールヨークの圖書館に二十萬圓、ハドソン河に沿ふたる築柵維持費に二十五萬圓を寄附し、其の他自己の靈拜する教會に、英皇の紀念基金に、倫敦のセント、ポール寺院の大電燈に、一々數へ來れば其の今日までに寄附する總額は既に一千万圓の上に出づといふ。

活動の典型

トラスト大王モルガン活動の典型

人類活動の最大なるもの

トラスト大王モルガン活動の典型

渠の事業、平生、性格を觀察して端なく吾人の眼前に髣髴するものは一
個偉大なる活動の典型なり。渠の活動は蓋し人類活動の最大なるもの
と謂はざるべからず。

渠曾て獨逸皇帝ウヰルヘルム二世陛下に拜謁す、陛下下問あり曰く「卿
朕を如何と見る？」渠鞠躬如として奉答して曰く「陛下天授、天高く海深
く敢て外臣の冒瀆を容れず、唯臣常に思ふ、若し陛下にして我亞米利加
大陸に生れさせ給へば今日の鴻圖大業よりも更に廣大無邊なる大活
動を爲させ給へるならん」と誰れか知らん、渠こそ則天高く海深き天授
の才を有し、英雄才を用ゆるに最も恰好せる米大陸に生れ渠がウヰル
ヘルム陛下に向て想望する廣大無邊の大活動は渠が現に自から試み
つゝある所ならんとは。

状態

造物主が輕々しく凡衆に賦與するを許さざる頭蓋骨及電光の如き眼
光を以て飾られたる魁偉なる状態。世界に涉るの智識及數字を擒縱

脳力

するの敏才とを以て卓越せる強健なる脳力。資本を運用するの靈腕
及事業を合同するの妙術を以て傑出せらるゝ偉大なる能力。成功を
見て失敗を見ざるの自信及己に聽て人に聽かざるの獨斷を以て満盈
せる英雄的性格を有し。一日一億五千萬圓の取引を決済する米國外
國貿易の樞軸たる大銀行を統轄するの位地に立ち、天産の寶藏、資本の
豊富、國民の氣力世界に横絶する新興大陸を舞臺とし、時に合縱し、時に
連衡し、或は河山を分裂し、或は天下を割宰し、以て帝國を興亡せしむる
よりも更に恐るべき手段と動作を要すべき企業を計畫し、且之を實行
す、是豈に曠古罕に見る所の大活動にあらずや。

地位

舞臺

手段

資産
三億圓

最近の調査に依れば渠の資産は三億圓なりとして算へらる、單に資産
の大小を較すれば渠固よりロツクフェラーに及ばず、カーチヤーに及
ばず、ヴァンダービルトにも及ばざるべし。然れども資産の大小渠に
在て何ぞ關せん、財を積み、富を致すは渠の希望する所にあらず、目的と

トラスト大王モルガン活動の典型

致富は目的にあら

要録

今後如何

トラスト大王モルガン 活動の典型

する所は一世に横絶するの大活動を爲すにあり、其積累せる財産は致富の志望に酬るんが爲にあらざして唯活動に必要な武器の一に供せんと欲するのみ。其指導する所の財産六十億圓何んぞ又屑々として資産の多寡を是争はんや。

渠高齡六十六しかも鑠鑠老健壯者をして走り且僣れしむるものあり。コルテリアスヴァンダーヒルトガ八十歳を以て猶ウオール、ストリートに馳驅したる當時を思へば、六十六歳の老翁も猶一箇の壯年なり。

思ふに渠が日々の活動力に徴すれば、今日は漸く渠の壯年時代なるべき歟。曩に大西洋航業同盟の世界を震驚せしむるや、英人は之を評して曰く、是僅に猛虎の瓜牙を露はしたるに過ぎず、此未曾有の大業も渠に在ては僅に休日の一内職に過ぎず」と、是渠が事業よりも寧ろ活動力の更に驚異すべきものあるが故なり。渠は活動の権化なり、知らず此活動の権化は今後の世界に如何なる活劇を演じ來るべきや、天を覆す

の壯觀か、地を繚すの大觀か、將た渠の那翁の大顛蹶か、渠の前路は猶悠々として白雲の裡に在り。



トラスト大王モルガン 活動の典型

石油大王 ロックフェラー

怪富的成功

(一) 十五億人中の第一人

三千の富豪顔色なし

カーネギーの富も以て比するに足らず、モルガンの財も以て格するに足らず、其一代に積累せる老犬の資産は秀然として高く群峯の上に突出し、萬を累ね億を競ふ綺羅星の如き米國三千の富豪をして悄然顔色なからしめ、世界十五億の民衆中に在て第一人の名譽を荷ふべき不敵無前の大富豪は石油大王ジョン・デー・ロックフェラー其人なり。最近の統計は渠の資産を測量して十五億圓に達せりといへり。果して然らば是カーネギーに三倍し、モルガンに五倍するの巨富なり。若し渠にして一朝鋼鐵大王の故智を襲ぎ、其巨富を擧げて之を世界に寄

一人一圓宛

與するの快舉に出でんか、試に之を地球上の生民十五億人に限なく分配するものとするも、猶渠一人の獨力を以て一箇の圓銀を漏れなく各人に寄與することを得べく、若し之を紙幣として一枚宛數へ上げしむれば、如何に敏速なる計算家と雖、晝夜兼行して猶且十年の後にあらざれば、數へ盡すこと能はざる巨額なり。此の如きは巨富といふよりも寧ろ怪富といふを當れりとす。

(二) ビリオネリーの金冠

米國にては富豪を呼ぶにミリオネリー(百萬弗)の稱あり、而して之を以て猶足れりとせず、更に又大富豪を呼ぶにマルチ、ミリオネリー(百萬の幾層倍)の稱あり。然れども、獨り渠に至てはマルチ、ミリオネリーの稱呼も亦猶足らざるを覺えず、ばあらず、渠はミリオネリーの王なり、渠が一年の所得は今や既に一億五千萬圓に上るものありといへば、其資

ミリオネリーの王

産のビリオン(十億弗)に達する日は最早遠きにあらざるべし。米國の一雜誌記者は曰く『ミリオチャイは十九世紀に於ける米國の名物なりき、然れども二十世紀に於てはビリオチャイを以て名物となすに至るべし』と思ふに此名譽ある新名稱の金冠を頂くべき最初のビリオチャイは其れ必ず渠なるべき歟。而して是皆渠が獨自の手腕一代の歲月を以て最初の一回より積み始め積み上げ今猶積み累ねつゝあるものなるに至ては更に又驚異すべき事蹟にあらずや。不知何等の怪腕鬼略ありて然る乎。

最初の金冠

(三) 太陽は世界の晝を照し、渠は世界の夜を照す

『渠は歐米の都市を照し、亞弗利加の内地を照らし、亞細亞の寺院を照す、太陽が世界の晝を燭すが如くに、渠は世界の夜を燭す』とは米人が渠を

讃するの語なり。今日世界の消費しつゝある石油は其三分の一を露國に仰ぎ、三分の二を米國に仰ぐ、而して米國の供給する石油は一滴の微と雖渠の統轄せるスタンダード會社の産出に係らざるものなし。渠が世界の夜を燭すの語必ずしも溢美にあらざるを知らん。石油輸送管二萬哩、石油配達車七萬輛更に之を載せて世界の各地に分配する汽船二百艘、金殿と茅屋とを問はず、貧者と富者とを問はず、夜間の照明は多く渠の供給に依頼せざるはなし。渠の怪富は世界の億兆が渠に寄進せる燈明代の堆積せるものなり。

成功の原動

(四) 一家の少義勇兵

世界第一の大河ミスシッピーの流を溯れば、身はいつしか北米邊境のある山中に踏入りて、途は遂に一掬の溪澗に盡くるを發見する如く、世

大河の窮極

界第一と稱せらるゝ大富豪の出生に溯りて、遂に寂しき孤村の一貧家に到着するは頗る趣味ある探討なり。

野菜と共に生ず

『富豪は野菜と共に生ず』とは能く渠の出生を説明せる語なり。渠は千

六七歳より労働

八百三十八年七月八日を以て、紐育洲タオガ郡、リツチフォードの孤村に生れぬ。父は猫額大の田園を有し、躬耕力作して纔に飢えざるを得たり。渠の自から語る所によれば、僅に六七歳の幼時より両親と共に田野に労働し、或は母を助けて山に柴薪を拾ひ、或は父を佐けて野に雑草を抜き、春は播き、秋は刈り、夏は耘り、冬は藁を打ち、以て一年を匆忙の間に過せりと。世或は之を以て渠が幼少より孝心に敦きの致す所なりと説く者あるも、思ふに寧ろ家道の困難は渠をして一家の少義勇兵たらしむるの已むを得ざるものありたるに因るならん。兎に角、渠が小童の身に堪へ得る限りの力を盡して、両親と辛苦を分つに努め、田に出て畑に暮して土臭き野菜と共に生長したるは疑ふべからざる事實なり。

(五) 農家の日雇小僧となる

日用取となる

カーチヤギーが頑是なき小童の身を以て外に苦役するの已むを得ざりし如く、渠も亦漸く鋤を手にするを得るに至れば、同じく報酬を外に取るの已むを得ざるものありき。十四歳の少年は農家の最も繁忙なる夏の來ると共に、日用取として、近隣の富裕なる農家に雇はれ、朝には星を戴て出て、暮には月を踏で歸り、晝は燬くが如き田畦の間に終日勞作し、夜は蒸すが如き納屋の裡に寐ね、一日又一日やがて夏過ぎ秋去れば、貯へ得たる勞銀を齎して家に歸り、先づ之を両親に献じ、然る後學資として、其一部分を得、冬季の農隙を利用して小學校に通ひつゝありたりき。

勞銀を父母に献ず

同じく是山間の溪水なり。然るに或ものは世界第一の大河となり、或

ものは田間に滞留して止む、水に幸不幸ありて然る乎。同じく是田舎の小僮なり、然るに或ものは世界一の大富豪となり、或ものは隴畝の間に老ゆ、人に運不運ありて然る乎。否、天は自から助くる者を助く、渠の好運は唯如此のみ。

(六) 少年時代の成功的二大感化(上)

父の性行
父はアベレーと呼びて質樸剛健、極めて純良なるアメリカ人の血を有したりき。敬虔にして神を恐れ、勤儉にして負債を恐れ、加ふるに獨立の意志頗る旺盛にして、人の財を貸し又は土地を貸さんと出づる者あるも決して其恩恵に浴せず、自家所有の小田を一家生活の資源として力耕と節儉とに依頼するの外決して獨立の主張を任せず。母はエリザといひ熱心なる基督教信者にして、頗る常識と教訓とに富めり。渠は此父と此母の血を享け、小童の頃より既に聰敏、伶俐を以て隣

母の爲人

寧馨兒を生めり

人に愛せられ、勤勉、節制を以て家人に賞せられ、獨立の氣象に富み、自活の才に長じ、殊に小童の身を以て早く既に父母の生計を佐くるを見ては、渠を識る者皆其氣力と孝心とに感歎せざるはなかりき。思ふに渠をして此氣力と孝心とを發揮せしめ、更に勤勉、節制、堅忍の習慣を養成するを得せしめたるものは父母の感化、蓋し多きに居る。郷黨相傳へて曰く「アベレーは寧馨兒を生めり」と。

(七) 少年時代の成功的二大感化(下)

田舎の感化
田舎は青年を作り、都會は事業を作る。渠は田舎に生れたり。田舎漢の有すべき美質の修養並に自然の感化はすべて之を受けたり。都會に於ける少年の渾沌たる腦漿を殘賊する喧囂、雜沓、競争、嫉妬の頭腦を擾すものなく、天の高き處、野の廣き處、山の聳ゆる處、水の流るゝ處、木の茂れる處、草の舖く處、花の咲く處、鳥の歌ふ處、牛の眠れる處、羊の遊ぶ處

勤儉の好少年

田舎に生れたるを感謝す

都人士を憐む

田舎漢の氣概

一として氣舒び臆に、剛健質樸の氣風を養成するものにあらざるは、なく、殊に質素なる田園の生活は節儉の習慣を作り、額に汗する田野の労働は力行の習慣を作り、盛夏暑を厭はず、嚴冬寒を厭はざる農事の作業は精苦堅忍の習慣を作り、田舎の自然と農家の人事とは渠を薰陶し、化成して一箇剛健堅忍勤儉節約の好少年とならしめたり。

渠も亦自から深く田舎の功德を識認せり。カーテギーが自から貧窮に生れたるを感謝する如く、渠は自から田舎に生れたるを感謝しつゝ、あり、米國『成功』の記者スエト、マーデン會て渠を訪ひ、叩くに渠が成功の原動力を以てす。渠曰く「余は寧ろ都會に生れたる者の不幸を憐まざるべからず。紐育を初として其他大都會に生長せる青年は殆んど辛酸勞苦の何物たるを知らず、富裕なる都人士か常に寒微なる田舎漢の凌駕する所となるは畢竟之が爲なり。田舎漢には辛勞に打勝て進むの氣力あり、目的を達し成功を遂ぐるが爲には如何なる勞苦をも避け

富豪は多く田舎漢

少年の大志

ずといふの氣概あり、故に其一たび都會に出づるに及べば死力を出して競争するに至る。然れども都人士は然らず、悠揚たる心事閑雅なる行爲、田舎漢と競争角逐する念慮の如きは更に之なきなり」と。

之を米國の重なる富豪に徴するに、渠の言ふ所は一時の豪語として之を排すべからず。遠きに在てはヴァンダートビルト(鐵道王)然り、ローレンス(吳服王)然り、アストル(不動産王)然り、ビーボデー(貿易王)然り、グールド(鐵道王)然り、近きに在てはカーテギー(鋼鐵王)然り、シュワツプ(月給王)然り、ヒル(鐵道王)然り、クラーク(銅山王)然り。フリツク(骸炭王)然り。乃ち知る成功の最大特長は其身先づ貧窮に生るゝか否らずんば田舎に生るゝに在ることとを。

(八) 大望を虚無縹渺の間に馳す

「蛟龍雲雨を獲れば池中の物にあらず、渠が少年時代に於ける抱負は此

の如きものありき。一日幾錢の勞銀を得て、他人の爲に終日田圃の間に勞作せる小童の胸中には、希望の光明あり、大志の活火あり。塵堆く薬埋もるゝ納屋の夜々、枯葉片敷き、獨り微睡む夏の假寐に、祝福の神訪ね來りて、渠が無心の夢に入れることとも幾度ぞや。一日の義務を終へ馬を追ふて歸り來り、納屋の二階に疲れ果てたる四肢を延ばしつゝ、二階の窓より暮色蒼然たる青隴の廣渺海の如きを眺め、顧みて一箇の日雇小僧たる現下の境遇を憐み、更に遠く思を虛無縹渺の間に馳せて或は大望を描き、或は夢想を辿るの時、渠のアンビションは如何に活躍したりしぞ。一日渠は例の如く黄昏納屋の窓に凭りて、今や將に暮靄に包まれんとする廣野を眺めながら、朋輩の一少年に向て曰く「若し此瀕望一帯の如き面積の土地を所有するに至らば如何に愉快なるべきぞ。余は屢々爾か思ふ、一たびは大富豪となり、以て權威を揮ふを得るの位地に此身を置きたきものなりと。君は爾か思はずや。余も君も

アンビ
ション大望は十
萬弗ヴァン
デルト

十萬弗位の資産家となるを得るの日あるべきか、何時かは此の如き日に遭ひ度きものなり」と、十四歳の日用取は十萬弗の大富豪となるの野心を有し居たるなり。昔コルネリアス、ヴァンダービルトは、其猶渡船の帆手たるの時、四十歳を期して二萬弗の資産家となるを得ば功成り名遂げて退隱すべしといひたる事あり。渡船の帆手に取りては二萬弗の野心は人の見て以て殆んど非望とする程の大望なり。然れども見よ渡船の帆手をして異日遂に二億の巨富を掌握せしむるに至れるものは實に此大望にあらずや。渠は之に似て之よりも更に大なるものなり。十萬弗の富豪！田野の間に傭耕する一少年の野心としては聞く者誰れか一笑に附せざらんや。然れども是渠の非望なり、否大望なり。其後年十億に垂んとする世界第一の大富豪となるに至れるものは實に此大望之をして然らしめたるのみ、傳へいふ渠は當時アラビヤナイトを読み、以て小説的空想に耽り居たりと。是頗る疑はし或

アラビ
ヤ
ナイト

は是一片の小説的傳説にはあらざる耶。然れども渠自身をしてアラビヤナイトの小説よりも更に小説的なる大成功を見るを得せしめたるは此大望たりしなり。

(九) 成功の舞臺は都會に在り

田舎に生れて都會に出づ、成功の徑路之より順なるはなし。渠は不敵の大望を有す、豈落花啼鳥と共に老ゆべけんや、豈草木牛羊と共に朽つべけんや。事業を爲すは都會に在り。材幹あり氣力ある青手が成功の舞臺として擇ぶべきもの都會に若くものなし。以爲らく『僻邑は志を成すの地にあらず、願くば大都に出て巨海に投じて生命限り泳がんと、乃ち其堅忍と勤勞とを以て不時の需に供へたる少許の貯蓄を懐にし、決然としてクリーヴランド市に出てたり。時に十六歳。

草深きリッチェンフォードを出て、繁華熱鬧のクリーヴランドに入る、恰

生命限り
泳がんと

初めて都
會を見る

商館のホ
ール

大々勞苦

かも細流を去て大海に浮ぶが如し。渠は初めて都會なるものを見たり、郷關を出づるの時既に幾多の決心と覺悟を有したる渠も、實際自ら大都の盤渦に投ずるに及んでは今更驚かれぬる都會の忙劇かな。渠は先づ或商館のホールとなれり。世界は如何に大にして己は如何に小なるか、前途は如何に遼遠にして勞苦は如何に多大なるか、感じ去り感じ來れば、世は渠が曩日納屋の二階に四肢を伸して、十萬弗の資産家を夢みたるが如く、爾く輕易なるものにあらざるなり。渠後年當時の感懷を語りて曰く、『當時の事は余永く之を忘れざるべし。余はクリーヴランドに出て、初めて都會といふものを見たり、而して余に最も利益を與へたりと思惟するものは、世界が如何に廣大なるものなるかを悟り得たることは是なり、余は當時幾多の野心を懷抱し居たるが、此野心を遂行するには大々勞苦に服せざるべからざるを覺悟せり』大々勞苦！是實に渠の全生涯を貫通する一大特色なり。

(十) 鶏群の孤鶴

ハイスク
ール

且、自勞し、且、自修す、健全なる貧兒は皆此の如し。渠も亦此種の一人なり。其初めてクリーヴランドに在るや、自勞自活の餘暇を以て市のハイスクールに通學せり。其日課に對するや、勤勉にして且頗る嚴正、殊に舉動最も端正にして、能く教師の命令を守り、學校の規則に従ひ、他の亂暴放縱なる梳白小僧の間に在ては殆んど鶏群の孤鶴たり。然れども渠は決して柔懦なるにあらず、克己的氣力常に内に滿つ故に舉動靜肅也、節制的習慣常に表に現はる故に態度端正也、若し同學の徒戯れに渠を凌辱せんとするが如きことあらん乎、渠は決して之に屈下せず、對手の如何に年長なるにも拘はらず、敢然として之に向ふを常とせり。校の庭上胡桃の樹あり、學生等渠の端正善良なるを奇貨とし、時に胡桃の皮殻を投付けて惡戯を試むることあり。渠敢て奔らず、微笑の間に

一大特色

皆渠に見
微ふ

敵の隙を窺ひ、馳せて之を追はずんば止まず。之を渠の行徑に微するに敵の隙を窺て之を追ふの一事は殆んど渠の一大特性たり。渠は石油事業の隙を窺ひ之を追て遂に之を得たり。渠は經濟社會の隙を窺ひ之を追ふて遂にトラストの創立者となれり。米國レバブリカン黨の有名なる黒幕宰相マーカス、ユイ、ハンナも渠の同窓なり、テヴァダ州選出上院議員ジョーンスも亦渠の學友なり、將來米國の明星となるべき此等の學生は何れも皆渠の爲人を畏敬して其行爲に模擬せざるはなかりき。教師フリース又渠を鐘愛して措かず當時渠の筆に成りたる數枚の奴隸廢止論は今猶類齡老健なる此教師の珍寶として筐底に保存せられつゝあり。

成功の準備

(十一) 準備時代に於ける四大特色

石油大王 ロックフェラー 成功の準備

二二五

退学
残念なる

一日渠は悄然として學校に上れり、フリースの教室に來りて告げて曰く『師よ、生は遺憾ながら學校を退かざるを得ず』と、辭色頗る決する所あるが如し。フリース驚て故を問ふ、渠泣然として答へて曰く『父病を以て不歸の客となれり、生は之より母を奉じ弟を養はざるべからず、現時の薄給家を支ふるに由なし、依て他の運送店に雇はれんとす、必死の勞働は生を待てり、最早學校に上るの餘暇なし』と、フリース聽て且憫み且惜み渠の爲に百方考慮する所ありたるも遂に及ばず。

花時風雨多し。然れども渠は此風雨の間に立て須臾も大望を離さず、光明を失はず、故に他人に在ては落花の雨も渠に在ては催花の雨なり。此に於て直に某汽船運送店の書記に雇はれ、一年三百弗の俸給を受け間もなく同店の現金支拂掛兼記帳方に榮轉し、年五百弗の高級に昇進せり。此に至て少しく渠が成功の準備時代に於ける四大特色を觀察するを要す。

運送店の
書記

(十二) 商賣的天才の發露 (特色の一)

一別杳然、弟子の安否常にフリースの懷裡に來往して轉た關心に堪へず、乃ち一日往て渠を運送店に見る。時に渠は輕装して貨物の上に躡し、手に帳簿を翻へし、ついに頻りに貨物と記帳とを照査し居たり、端なく舊師の訪ね來れるを見て大に喜び、欣然出て迎へて互に別後の消息を叙し、懸がて傍らなる水上に浮べる筏を指し、謂て曰く『師よ、彼の筏は或る加奈陀人が當地に於て賣却せんが爲、わざ／＼エリーの湖水に浮べ、て此處に齎らしたるも顧客を得る能はずして持て餘せしを非常の廉價にて買ひ置きたるものなり』と、頗る得色あり。フリース共に喜んで曰く『それは善かりし、唯資本は如何にして之を得たるや』渠乃ち莞爾として答へて曰く『幸にも毎月給金の中より少額を剩餘して貯蓄せるものあり、以て不時の需に應ずるを得たり、師よ、是生が商賣の初陣なり』と

筏を買ふ

商賣の初
陣

七面鳥を
賣る

心算に利益の必來を豫期するものゝ如く、喜色面に溢れて見えたりき果せる哉。渠は其後之を麥粉製造所に轉賣して五十弗の利益を得、フリースをして其實業的天才に驚喜せしめたり。

渠の天才を歎美する者は、渠が九歳の時に自から七面鳥を飼育して之を賣り、其所得を他人に貸付けて年七米の利を收めたりとの逸話を傳へ。又渠が多量の屑豆を非常の廉價にて買ひ來り、直に之を賣拂はんとする氣色なく、毎日少し宛納屋の二階に持上り、暇ある毎に其中より黒く蟲食みたる廢豆を根氣能く選り除き、數週日の後には以前の屑豆を變じて全く純良なる豆となし、之を高價に賣捌きて利益を占めたりとの逸事を語る者あり。種々なる逸話傳説を以て天才を飾らんとするは古來驚歎者の常とする所未だ、遂に信ずべからずと雖も、渠の商賣的天才が此時代に於て既に多少鋒鏘の發露する所ありしは、則疑ふべからず、廉價にて買ひ高價にて賣る、商機商略皆此外に出でず。

屑豆を賣
る

(十三) 成功學の加減乗除 (特色の二)

規則的
節制的

會計簿

實業家として又成功者として渠を觀察する者は、此準備時代に於て決して看過すべからざる一大特色あるを見ん。則成功學の加減乗除として最も普通にシカモ最も必要なる規則的並に節制的習慣が頗る嚴正に實行せられたること是なり。

渠は運送店の書記となりて月二十五弗の報酬を得るに至りしより、一方に於ては非常なる勤勞を以て俸給の増加を圖ると同時に、他方に於ては非常なる節儉を以て貯蓄を起さんと決心し、之を實行するには絶えず收支を明にして入るを謀り出るを制するの外なしと思惟し、帳簿を作りて收支の數字と摘要とを一々残さず記入したり。普通の青年が瑣事なりとして容易に着手するを厭ひ、又假令着手するも面倒なりとして忽ち放棄する今日の家計簿記は、焉んぞ知らん、渠が成功の最大

一家の寶

要素として一日又一日倦まず撓まず最も嚴重に之を實行し依て以て幾んど給金の半ばを貯蓄し且つ極めて嚴正なる規則的並に節制的習慣を作為するを得たりしものあらんとは。

當時の會計簿は今猶一家の寶物として渠の家に保存せられつゝあり。渠が勤儉貯蓄の大切なることを毎に青年に語るの時事實の説明者として召喚せらるゝものは此會計簿なり。紙表紙の極めて粗末なる小さき帳面にして上にはレツチャイア(元帳甲)と記され滿面立錐の餘白なきまでに細字にて占領せられつゝあり。嗚呼此帳簿か實に是渠が成功の母なり。其朦朧たる墨痕は辛酸勞苦の記念なり其細密なる數字は克己精勵の記念なり。渠は此帳簿を見る毎に當時の苦境苦心苦勞を眼前に髣髴し又顧みて現時の大成至福に想到し俯仰感慨に堪へざるものゝ如く先づ皺枯れたる手にて懐かしげに帳簿を撫摩し然る後必ず此く言ふを常とせり『先頃或箇の裡より古曆を擲げ出したるに

成功の母

俯仰感慨

實に貴重なるもの

端なく此帳簿を發見せり。回顧すれば實に是四十餘年以前のもの上には此くレツチャイアと記しあれば正しく余が記帳を始めたる最初の會計簿なり。此くの如く小に此の如く穢き一片の故帳に過ぎざるも余に取ては實に此の如く貴重なるものあらざるなり。之を見る者は余が當時より如何に注意して所得と費用とを一々此帳面に記入したるかを知るを得べし。曩に之を發見するや表紙の見えざるを怪み猶仔細に點檢したるに焉んぞ知らん余は全く忘れ居たり表紙の餘白を利用して其上にも記入し爲に一見表紙たるかを識別する能はざりしなり。嗚呼余は如何に克己し且節儉したりしよ。節儉は實に美德なり。力の許す限りを儲け力の許す限を蓄へ力の許す限りを施す是實に人生の義務なり。余は初めより此主義を嚴重に實行し來れり。而して之を實行するには唯明細に收支を記録するに若くものなし」と只一の會計簿のみ中には唯「何年何月何日洗濯代幾仙理髮代幾仙狀袋

風采の修整

を眼前に髣髴するなるべし。然れども事實は却て反對なり。渠の態度が端正なりしが如く、渠の風采が能く修整したる一事は亦實業的青年の注目に値せずんばならず。渠は敢て美服を纏へるにあらず、服の質、衣の素なるは固より言ふを待たざれども、渠は垢面敝衣の決して處世の要訣にあらざるを靈覺し、其頭髮は常に丁寧に之を梳り、其襪衣は常に清潔なるを着し、其服は常に瀟洒たるものを纏ひ、其靴は常に磨かれて苦心の光を放ち、其修整せる容貌は渠と接觸する者をして一種の快感を懐かしめたる程なりき。渠はレッヂャーAを翻へしつゝ語るらく「千八百五十五年の十一月より翌年の四月に至るまで、余は衣服の爲に九弗八仙を支出し居れり。流行を追ふが如きは固より余の爲す能はざりし所なるも、見苦しき風采に安じたるとは曾てあらざりき。尤も二弗半……毛皮の手套てんぐろは當時の余に取ては寧ろ贅澤に過ぎたりしを懺悔せざるを得ず、然れども余は他の青年の如く余の支拂に堪

毛皮の手套

へざる程の衣服を纏へることなし」と。

成功の開展

(十六) 事物の原因結果に注意するの美質

三大時期

運送店の書記は如何にして石油大王となりたるか、渠が成功の開展を知らんと欲する者は先づ其間に三大時期あるを知らざるべからず。第一期は意志發動の時代是なり、第二期は潜心研究の時代是なり、而して第三期は活動奮闘の時代是なり。

石油の起原

石油発見の起元は頗る古し。我越後に於ても石油の燃料に使用せられたるは遠く中古の時代に在り。歐洲に於ては十七世紀の頃燭煤より石油を採りたることあり。十九世紀の初め、米國オハイオ州の或地方に於て山鹽の鑿井中より石油の噴出せるあり、當時米國科學界の名士ヒルドレス教授は早くも其良好なる燃料たるべきを認め、石油は聽

がてオハイオ州に於ける都市町村の街燈を點火するに至るべしと豫言せることあり。降て千八百五十五年に至り、ジョナサン、ワットソンなる者岩罅より流出する石油を汲み採り、ハートフォードの化學者に分拆を乞ひたるに、天然油にあらずとして排斥せられたり。企業に銳意熱心なる米人が世界に率先して石油事業に注目したるは此頃よりの事なりとす。

渠の初めて石油に接觸したるも亦此頃の事なりき。渠の舊師フリースの隣家に住める者、ベンシルヴァニアより石油を採り來りて、之を純精なる燃料に改造せんと欲し、或は煮沸し或は燃燭して種々工夫を凝せるも遂に成功する能はず、唯惡臭紛々として徒らに隣人を迷惑せしむるのみなりし。フリースも亦其惡臭に苦められたる一人なり。一日渠と相見たるの時話次語るに此事を以てす、渠の實業的天才は直に大利益の此臭水中に潜伏せるを靈覺せり。乃ち舊師を煩はして其少

初めて石油に接觸

自から石油を試験す

量を得、之を携へ歸りて試に黒き泥水を沈澱せしめ、其上層より稍透明なる一部を汲取りて之に點火したるに、果せる哉黄色の炎燄燃え上ると同時に、惡臭鼻を衝て耐ゆべからざるを覺えたり。渠は幼少の頃より事物の原因を尋ね之を各方面より觀察し、研究に研究を重ねて必然の結果に到達せずんば止まざるの美質あり。今や自から天然油の點火を試験して頗る發明する所あり、燃油の殘滓を眺めながら沈思獨語して曰く「此滓を捨て此臭を除くに於ては燈油として必ず需用せらるべし、如何にせば之を除くを得べきや、兎に角除き得られざるにはあらざるべし、余は必ず之を發明せずんばあるべからず」と。是實に渠が石油事業に對する意志發動の端緒にてありたりき。

(十七) 淵に臨んで魚を羨むは退て

網を結ぶに如かず

石油に對する戀

石油大王ロックフェラーの成功の開展

二二八

石油の點火せられたると同時に、渠の石油に對する戀も亦點火せられたるなり。石油の燃え上りたると同時に、渠の石油に對する戀も亦燃え上りたるなり。渠は必ず此戀を遂げざるべからずと決心せり。然れども此戀を成就する爲に、先づ二個の關門を通過せざるべからず。一は石油精製の方法を研究發見すること是なり。一は企業に要する資本を産出すること是なり。渠に取りては二者共に容易の業にあらず。

倉庫事業

然れども渠は淵に臨んで魚を羨むよりは退て網を結ぶに若かざるを知れり。此に於て先づ獨立の事業を經營して資本を産出するの志を決し、乃ちヒュヰットと稱する一青年と協同して倉庫事業を始めたり。運送店に於て修養せる智識は倉庫事業の經營に於て少なからざる便宜を與へたり。而して渠が晝夜を分たざる必死の勤儉と、潔白なる志操によりて得たる堅固の信用と、商機商略に敏捷なる實業的天才

とは渠をして五箇年の間に二萬圓の資本を積累するを得せしめぬ。

(十八) 冷靜にして聰明なる判斷力

千八百五十九年ペンシルヰアニアに於て石油の噴湧あり、人心漸く動かんとするの色あり、簡易なる精油方法を以て之を燃料に試用せんと欲する者陸續として現はれたり。千八百六十年にはピッツバーグ市のロックハートなる者六百瓦の石油を歐洲に積出し、次て又ヴァーニヤにも油井の發見あり。石油熱は遂に輕銳なる青年並に大望ある實業家の野心を誘導して、各地より石油地方に來集し、投資し、買収を試みる者宛なから狂するが如くなりき。

渠も亦倉庫事業に従事せる傍ら、石油精製の研究は頃刻と雖も念頭より失ひたることなし。唯渠は石油熱の患者にあらず、狂躁せず激昂せず、極めて冷靜なる頭腦を有し、極めて續重なる態度を取り、先づ石油地

石油の狂熱時代來る

石油熱の患者にあらず

石油大王ロックフェラーの成功の開展

二二九

の實況を視察せんが爲ペンシルヴァニアに向て出發せり。クリーヴランドには渠の誠實と判断力とを信用する者頗る多く、若し渠にして適當なりと思惟する油井を發見せば直に十五萬圓の資本を出し、更に渠の報告次第によりては八十萬圓の巨資を投すべきを約し、以て渠に黄金の泉を發見せんことを勸説せり。渠は當時未だ二十五歳の青年なり、渠の資産は猶僅に二萬圓に過ぎざるなり。然るにクリーヴランドの實業家は此一青年の誠實と小資本家の判断力とを信用して百萬圓の資金を投ずるに躊躇せざらんとす。亦以て渠の判断力が如何に精確にして、渠の信用が如何に厚大なりしかを推想すべきなり。

(十九) 時流の機先を制する眼識

渠は遍ねく石油地を視察せり。噴油は既に泉の如く、滾々として晝夜を分たず、以て其前途の有望なるを卜すべし。然れども渠は更に精油

所を見たり、其方法の簡易なる、其精油の粗悪なる、到底燈油として常用に堪え得るものにあらざるを發見し、石油事業が未だ確實なる投資の時機に達し居らざるを見たり。以爲く勝利は唯純良なる精油の方法を發見する者に歸すべしと。曩に百萬圓の資金を投ずるも躊躇せずとの氣込を以て只管吉報の至るを待詫びたるクリーヴランドの實業家は、渠が一弗をも投資せず袖手して歸り來れるを見、何れも其意外なるに喫驚しぬ。

然れども渠が判断力の精確なりしを發見するの日は遠からずして來れり。石油は危険粗悪なりとの故を以て需用少しも増進せず、懸て生産超過となり、油罐は市場に堆積して、投機となり、詐欺となり、破産となり、動搖となり、混亂となり、百事瓦解の状態に陥り、石油地は紛擾の地と變じ、石油に關係する者はすべて信用すべからざる無頼の徒と思惟せらるゝに至れり。然れども渠の先見は暗檐の裡に光明を見たり。何

どや形勢を一轉せしむるの途他なし、唯精油の方法を改正するに在るのみ。

(二十) 敵の缺點を衝き時勢の要求に中る

此時に方り天は渠の大望を成さしめんが爲め渠に向て一人の天使を贈りぬ、渠が實業上の知友にサムエル、アンドリュウなる者あり、石油の精製に就て一の新法を發見し、來て之を渠に語れり。其説明する所を聽くに渠の日夜苦心し研究し工夫せる所と殆んど符節を合する如し、乃ち決然として以爲く時至れり矣と。依て直に協同企業の約を定め、其所有せる倉庫會社の株券を賣拂ひて之を資本に充て、敢て他人の資力を假らず、茲にロックフェラー、アンドリュウ商會の名の下に一箇の微力なる石油精製所は設立せられぬ。是千八百六十五年の事にして、渠が二十七歳の時なりき。

時至れり

エアロクフ
エラックフ
エインドリ
商會

注文與風の如し

此新奇の改良は正しく石油業者の缺點を衝き且時勢の要求に的中せるものなりき。其所謂精油なるものも今日より之を見れば無論極めて幼稚なるものなりしと雖も、當時に在ては實に純良無比なるものなり。故に其一たび市場に賣出さるゝや、忽ち非常なる稱讚を得、無限の需要を喚起し、注文の飛來すること宛ながら疾風の如し。アンドリュウ工場部長となり、渠營業部長となり、晝夜活動必死となりて全力を發揮するも到底需要に追及する能はず、此に於て其得たる利益を以て直に又第二の精油所を設立し、二年の後には一日二千樽の精油を産出するに至れり。スタンダード石油會社の基礎遂に茲に成る。

成功の奔騰

(廿一) 聯合軍を擊碎す

一世驚駭

石油界は渠の突出を見て驚駭せざるを得ざりき。渠の創意勇敢、猛威

石油大王 ロックフェラー 成功の奔騰

ナポレオンと聯合

は實に彼等の意表に出でたり。從來有名無實の精油事業を以て暴利を占めつゝありたる同業者は皆齊しく渠の盛況を嫉み、渠の勢力を畏れ、其羽翼未だ成らざるに及んで之を壓倒するの得策なるを感じ、聯合同盟して渠に當り來れり。然れども彼は舊式なり、此は新式なり。彼は戰術を知らず、此は戰術を知る。彼は烏合にして統一なし、此は首腦ありて活動す。史家其實力の懸隔を評して曰く、恰かも是精銳なるナポレオンと老朽なる聯合軍との對抗に髣髴するものなりと。渠の眼中殆んど敵なし。聯合軍は見る／＼中に壓倒せられ、撃碎せられ、其多くは間もなく、渠の猛威の下に懾服せざるを得ざるに至りぬ。

(廿二) スタンダード石油會社の創立

社運旭日

渠は疾風の枯葉を捲くの勢を以て競争に打勝ち市場を席卷し、社運の隆盛宛ながら旭日の上るか如し。此に於て四方風を聞て合資協同を

フラッグの加

望み來る者亦頗る多し。然れども才幹使倆の以て共に事を爲すに足るものあるにあらざれば、渠は決して加盟を許さず。唯當時の富豪フラッグラーのみは、其熱心は以て事業と終始するに足り、其才幹は以て巨大の財務を處理するに足り、其資本は以て事業の擴張を補助するに足るものありたるを見て、之を組合人の中に加へたり、而して一方に於ては創業の友たるアンドリューが意外なる事業の隆昌に満足し、自家の権利を高價に賣放ちて退去せんと欲するの意向を示すや、渠は直に其欲する所の賣價を問ひ、アンドリューが試に百萬弗と書したるを見て、少しも驚かず、「百萬弗は千萬弗よりも廉價なり」との豪語を以て、二十四時間内に百萬弗を調達して其権利を買取り、千八百七十年一月遂に百萬弗の資本を以てスタンダード石油株式會社を設立し、自から社長となり、弟ウヰリアム、デ、ロツクフェラーを副社長となし、フラッグラーを庶務長兼秘書役として、愈米國の實業舞臺に躍り出でたり。

スタンダード會社

(廿三) 獨占の戰鬪始る

大望

スタンダード石油會社は世界の未だ曾て見たることなき明晃鮮麗なる燈光を以て米國の都會を照せり。油質は純良となり均一となり廉價となりて石油時代は遂に現出せられたり。渠の大望は此時代の主人とならんと欲するに在り。太陽が世界の晝間を支配する如くに渠は世界の夜間を支配せんと欲するに在り。則渠の大望は事業の獨占到在り。利益の壟斷に在り。

既に精油に成功す次に渠の巨腕を勞するものは石油の分配方法はなり。其未だ初期の時代に在ては粗造の樽に容れ或は荷車に積み或は方舟に載せ以て之を運搬したるに過ぎざりしも後鐵道の敷設となり油槽列車の使用となり更に石油鐵管の發明せらるゝに及び鐵管製造會社は續々として起れり。渠は又此附屬事業をも自家の手中に掌握

パイプ、システム

するの必要を感じ千八百七十七年パイプライン、システムの名によりて之を一組織の下に吸収し更にスタンダード會社の資本を七百萬弗に激増せり。

(廿四) 先づ天王山を得る者は勝つ

一大難關

勝敗の決

然れども渠が石油界の霸王となるには更に一大難關の存するあり則石油地より精油を米國の各市場に輸送する方法是なり。先づ天王山を得る者は勝つ。先づ石油の輸送に於て特別の便宜を得るものは必ず優勝の位地に立つ。渠は此點に於て同業者中最も不便利の位地に立てり。當時西米未だ開けず石油の市場は主として東米に在り然るにクリヴァランドは東米に對する供給地としては餘りに西方に偏せり。渠は市場に近き同業者よりも多額の運賃を拂はざるべからず隨て價額の一點に於ては他と競争すること能はず是渠の前路に横

不利を轉
じて最利
となす

はれる一大障礙なり。しかも人力を以て容易に打勝つべからざる天然の障礙なり。然れども渠は之に打勝たざるべからず、之に打勝たずんば渠の覇業は成るべからず。股肱は皆曰く、せめては他の同業者と運賃を同一にするの便利を得ざるべからずと。然れども渠は猶満足せざるなり。渠は他の同業者よりも更に多大なる便利を得んことを望めり。最も不利益の位地に立ち而して最も多くの便利を得る、如此非望は果して遂げらるゝを得べき乎。然れども渠は遂に之を遂げたり。他の同業者よりも更に低廉なる運賃にて石油を市場に輸送するの便利を得たり。神籌鬼膽可驚哉。

不知渠は如何にして之を得たる乎。或は曰く渠は鐵道の運輸係に賄賂を贈り、依て以て運賃割引の便利に浴したるなりと、或は曰く渠の詭辯勁舌遂に能く鐵道の社長を動して之を得たるものなりと、事實は秘密の裡に隠れて未だ真相を語らずと雖、渠が輸送に關し特別の便宜を

得たるは則事實なり。渠は既に「天王山」を得たり。油質に於て、資本に於て、才幹に於て、而して又運賃に於て最優勝の位地に立てり。覇業既に指呼の間に落つ。

(廿五) トラスト組織の元祖

折しも世は財界恐慌の爲狂風怒號驚波洶湧の狀ありき、則近世産業方法の餘弊たる生産の過大消費の過小、同業の競争、事業の挫折により、米國の輿論は大に動搖し、之が救治の方法を講ずるは米國の一大急務とはなれり。如何にして之を救治すべきや、識者は頻りに競争の弊害を論じ、産業同盟の必要を絶叫せるも、之が實行の方法としては一も指示せられたるものあらず、實業家は自然の勢として「プール」を組織し、依て以て危険を免れんとするも、法律は斯る聯合を以て正當なるものとは認定せざりき。此に於て創造力に富める渠の眼識は新奇の産業方法

を發見せり。此方法たる嶄新なる一種の時弊救治法たりしと同時に又渠をして石油獨占の覇業を完整せしめたるものなり。新産業方法とは何ぞや、トラスト是也。

渠は此獨創の方法により、偉大なる統一的手腕と秀拔せる組織的能力とを揮ひ、千八百八十二年を以て諸他の地方に散在せる種々の油田及精油所をスタンダード石油トラストの名の下に連結せしめ、以て一切の競争を杜絶せしめたり。渠がトラストを組織するまでに至れる手段の猛烈にして冷酷なる、一面に於ては盛に事業の擴張に努め、他面に於ては頻りに小會社の來降を促し、若し應ぜざるものあらんか、或は忽然として石油を暴落せしめ、或は鐵道を買收して他の運送を止め、有らゆる手段を用ひて之を苦め、敵をして窘窮遂に來り届するか、否らずんば破産の窮極に陥らしめて、遂に之を買取する等、目的の爲に手段を擇ばざりし一事は渠の一大汚點として永く拂拭するに由なかるべし。

唯渠を新時代の開創者たるトラストの鼻祖として、渠に歸するに産業上の改革に於ける筆頭の名譽を以てするは米國經濟學者の齊しく異議なき所なり。

(廿六) スタンダード會社の盛觀

スタンダード石油トラストは初め七千萬弗即我一億四千萬圓の資本なりしを、後逐次増加して今や既に二億二千萬圓に上れり。千八百九十二年オハイオ州の高等法院はトラストの弊害あるを見て之を否認したるが爲、一時解散の形體となりたれども、後ニューヨークの法律に従ひ、トラストの形式に復し、今猶スタンダードオイルトラストと稱せらる。石油輸送管二萬哩、汽船二百艘、石油配達車七萬輛、其規模の廣大なる世界の消費する石油の三分の二は渠の供給する所にして、苟くも此供給に備ふべき原料鐵道航業等は、宛かも鐵の磁石に吸收せら

配當一億
六千萬圓

四割八分

るゝが如く、皆渠の鐵腕に統轄せられざるはなく、而して餘力更に遠く海外に及び、我日本に於ても既に一千萬圓の資本を越後に投じてインターナショナル石油會社を設置せり。其一年の配當一億六千萬圓に達し、其利率は資本に對する三分五厘を普通金利とする米國に於て四割八分に當るに至るは豈に可驚の巨額にあらずや。カーチヤーの讚辭に曰く『スタンダード・トラストは同會社創立者の非常なる敏腕に因るものにして、殊に規模の絶大、組織の完全、他に比類を見ず、尋常一様のトラストを以て論ずべきものに非ざる也』

成功者の面目

(廿七) 世界富豪の筆頭

世界富豪
の筆頭

「富豪と喧傳せらるゝ者其實皆果して富豪なるにあらず、合衆國の富豪は名實に過ぐる者多し」とはカーチヤーがブルックリンの富豪姓名録

バー
の統計

を見て米國の富豪を冷嘲したるの語なり。然れども獨り渠のみは如何に名の實に過ぐるものを遠慮なく控除するも世界富豪の筆頭たる位地は決して之が爲に動くことあるべからず。世ロックフェラーの資産を稱して或は十億といひ或は十五億といひ紛々として適從する所を知らず。傳記家バーンレー氏の調査する所によれば渠の資産は二年前に於て我五億圓、而して一年の所得一億五千萬圓、尙一昨々年の鐵道トラストによりモルガンを通じて渠の所有に歸せるもの三億圓に達せりといへば之を總計して渠が現時の資産を十億圓以上に計算すれば先づ當らずと雖も遠からざるを得べし。渠は此點に於て世界十五億萬人中の第一人たる名譽を荷ふに値すべきものあり。

(廿八) 容貌、風采、態度、言語

フリードリッヒ曰へるあり『致富の目的は自己及他人に幸福を與ふるに

容貌

在り』と然れども一たび渠の風采に接し、其容貌を目撃する者は、如何に金力の尊榮を渠に加ふるも之を以て世界の最大幸福者と信ずる能はざるべし。レキウードの地方に行く者は往々蕭條たる一帯の松林中に脊高く肉瘦せ、色蒼白く、頭髮は殆んど枯落して満面の皺波宛ながら梅干の如き老翁の枯瘦し、且稍屈曲せる軀軀を、粗末なる杖に凭らせ、徐かに散策せるを見ん。是則世界第一の名譽ある大富豪の近状なり。渠少時より長身瘦軀、晚近胃を病む、口にする所は唯牛乳と輕き麴包と淡き野菜の類に過ぎず、是れ其一段の枯瘦を呈する所以歟。渠の面貌は沈重なる如何にも思慮に富めるが如く、態度の平靜にして遠慮勝なるは寧ろ學者に似たり。人と語るに冗舌なく漫語なく、急言せず、激論せず、一句一句に重きを置き、言辭威あり、語尾力あり、徐々として語る所唇頭に番兵ありて一語一句を検査するが如きものあるありといふ。

態度

言辭

(廿九) 最大富豪一日の日課

朝

渠は幼少より早起の人なり。リッチフォードに在る時も、クリイヴランドに在る時も、紐育に在る今日も決して朝寝したることなし。早朝より起き出で、先づ質素なる輕き朝餉を喫し、食後一二時間家に在りて秘書と共に家事の要談を爲し、夫より馬車にてブロードウェイ街なる石油會社に赴き、暫時社長室に閉籠りて極めて忙がしく且極めて敏活に事務を見、正午には俱樂部若くは附近の料理店に至りて晝餐を喫するを常とせり。食前珍味なく、芳醇なく、口にする所のみは唯一杯の牛乳と一片の麵包とあるのみ。此くて社に歸りて四時乃至四時頃まで時務を視、夫より帰宅して冬季ならば氷沍メイキングを爲し、其他の季節には馬車を街上に驅り、晚餐には家族團欒して食卓に就き、家庭の清福を語るを以て無上の快樂となし。夜は早く寝ぬ。是渠が一日の日課なり。

正午

夕

(三十) 生活は平民的嗜好は宗教的

嗜好は家
内的

渠の嗜好は戸外的にあらずして家内的なり。米國富豪の通有とする良馬を飼養して時に駿馳を郊外に驅るの嗜好なく、又海上の別荘たる遊船を建造して遠く海洋に浮ぶの快樂なし。クリイヴァランドに於ける宅地は頗る廣大なるものにして其敷地は數哩の廣きに亘るも、渠は茲に山水泉石の小天地を造らんともせず、其大部分は市に貸與して公園に使用せしめつゝあり。紐育に在る邸宅は堅固なる石造の大厦なるも、一見したる所左までに莊麗ならず。世界一の富豪を安置する社壇としては餘りに粗末なり。其生活は極めて平民的、家庭の團樂を以て唯一の幸福となす。其嗜好は極めて宗教的、敬神禮拜を以て最上の快樂となす。唯其ピアノに堪能なるの一事、此人にして此隱藝あるかと驚歎せしむる程なりといふ。

隠し藝

(卅一) 家庭夫人子女

夫子

渠の少時に戀愛譯あるや否やを知らず、然れども渠の夫人はローラズベルマンとして幼少の頃より渠と日曜學校に於ける相識たり。渠が成功準備時代に於ける内助の功固より少なからざるのみならず、其閑雅清楚なる風采と操行とは常に富者の中に在ても亦貧者の間に在ても愛慕尊敬の中心たり。嫡ジョン、デー、ロックフェラーは、乃父より勤勉敢堅忍爲等の美質を繼承し、如此巨萬の富と偉大なる事業の後繼者として責任の頗る大なるを自覺し、大學を卒業せる後は直ちに身を實業界に投じ、最下級の地位より一步又一步、經驗を積み、伎能を鍊り、今や漸く成熟の域に達し、人皆稱してロックフェラー氏後ありといふ。其の夫人は實に父が貧時の舊師フロースの愛娘なり。女子二人、長なるはバプチスト寺院の貧乏牧師に嫁し、次なるはシカゴに於ける有爲なる

長子

女子

青年實業家に歸けり。華美を避けて摯實を尙ひ、交際を避けて家庭を樂むの一事は渠が夫妻の一特色として米人の間に傳誦せらるゝ所なり。

(卅二) 天成の敬神家

五十年前の渠
今より五十年前、リッチフォードの一寒寺に、敝衣瘦軀、見すばらしき小童の屢々來り遊ぶあり。來れば必ず蠟燭立を磨き、或は窓ガラスを拭ひ、或は伽藍の塵を掃ひ、器物の曇を除き、若し葬儀の執行せらるゝに會すれば、或は燈明を點じ、或は梵鐘を鳴らし、時には小さき財布の裡より小錢を取出して寺の爲に一時の用を辨ずるを辭せず、人其用意の殊勝なるに感ぜざるはなかりき。是別人ならず即渠なり。

天成の敬神家

渠は天成の敬神家なり。渠の富、渠の位地、渠の勢力を以て乃ち其最愛の長女を貧乏牧師に割愛して惜まざるの一事に徴するも亦以て其信

日曜學校長

仰歸依の如何に熱心なるかを推知するに足らん。渠が成功の記念たる貧時の小使帳を閱すれば、毎頁始んど寺院、教會、日曜學校に多少の寄附を記入せざるはなし、渠は毎日曜日に必ず一仙を日曜學校に寄附せり、一仙は驚くべき小額なりと雖、是渠が當時に在て寄附し得らるべき最高額なりしならん。貧者の一燈は富者の萬燈に勝る。渠が今日紐育フェイス、アベニー、バプチスト寺院の最も熱心なる信徒の一員にして、祈禱會、說教會、聖書研究會等には一家、舉つて必ず出席し、又宗教的事業の爲に巨萬の淨財を寄附するは決して偽善の行爲にあらざるを知る。渠は日曜學校の校長たること前後三十餘年而して、夫人は其幼年部長たり。曾て渠の爲に舉行せられたる二十五年勤績式に於て、渠は實に五百人の小童と握手したりと云ふ。

成功の義務

石油大王 ロックフェラー 成功の義務

(卅三) 千四百萬圓の懸賞

富の處分
如何

十億の巨富渠果して如何か之を處分せんとする既に美人を購はず又既に邸宅を購はず思ふにヴァンダービルトの如く之を悉く子孫に譲りて世界第一の名聲を永久に維持せんと欲するか將たカーネギーの如く其大部分を天下に寄附して永く社會を益せんと欲するか。今日に於て未だ何人も此問題を解釋し得る者なし。然れども渠の意向は粗ぼ之を知ることを得。渠頃日紐育の聖書研究會に於て一場の演説を爲せり中に曰く「富を求むるは惡事にあらず否黄金は現時の世界に於て善事を爲すの最大有力者なり世には貧者の惡人あるか如く富者の惡人なきにあらず是富者の富なるものは同胞の善事の爲に消費せらるべく一時己に寄托せられたるものなることを知らざるに因る」と是果して渠の眞意耶。事實は遠からず之を證するの日あるべし。

聖書研究會に於ける演説

渠が從來教育病院、宗教の爲に寄附せるもの既に幾千萬といふを知らず。其シカゴ大學に千五百萬圓を寄附せる如きは其最大なる一なり然れども其最も世人の注目を惹ける者は世界人類が最も多く苦惱せる血して世界の學者が最も多く苦心せる結核の治療法を發見せる者に贈與するの目的を以て今春シカゴ大學に千四百萬圓を寄附せるものなり。學者學の爲にす元と懸賞の爲にするものにあらずと雖も渠が人類の福祉の爲に此巨額の賞金を支出するに至ては能く富豪の義務を知る者といはざるべからず。

成功の明暗

(卅四) 看過すべからざる一黒點

渠の勢力は今や石油を包み、鐵道を掩ひ、ウォール街に横流して、殆んど全米に光被するの狀、猶太陽の天に沖するが如し。然れども光明遍照

密一團の秘

の太陽にも猶黒き班點ある如く渠の成功にも亦看過すべからざる一
黒點あるを認めざる能はず。即渠が富の獲得に伴ふ一團の秘密是な
り。

渠の事業は王者の事業にあらずして覇者の事業なり。故に彼の經歷
には戦闘あり、征伐あり、併呑あり。彼の周囲には怨恨あり、讒謗あり、中
傷あり。其毀譽紛々として適従する所を知らざるは之が爲のみ。或
は曰く、渠は其突進時代に際し他の石油業者と激戦の決勝點に於て鐵
道の吏員を買収し之によりて遂に優勝の位地に立ちたりと。或は曰
く、彼は一方に於てシカゴ大學に教育基金を寄附すると同時に、他方に
於ては其補填として石油の價額を引上げたりと。殊に渠が米國議會
に於けるトラスト禁止法案に反對し之が通過を妨げ若くは之が解除
を圖らんが爲議員を買収し議會を腐敗せしめたりとの風説は昨今に
至るも猶絶えず耳にする所なり。而して其甚しきに至ては、近者米國

買収

石油引上

腐敗

發明蹂躪

に於て品質價額兩ながら石油に優るの新發光物を發明せる者ありた
るに、渠は此發明によりて其巨富の生命たる石油の市場を侵襲せらる
ゝに至らんことを虞れ、之を無効に歸せしめんが爲、獨に一千萬弗の鉅
費を以て此發明權を買収し、以て勁敵の發明を闇より闇に斷送せりと
の巷説すら傳へらるゝに至れり。喬木風多し。渠に於て獨り之を怪
しとするには足らざれども、此等の間に於ける消息が一切秘密の裡に
密閉せられて、一世の疑惑と、身邊の惡聲とを氷解せしむる能はざるは
正しく渠の一黒點と謂はざるべからず。

(廿五) 生涯を一貫せる特色

莫遮秘密は寧ろ秘密として之を默せしめよ。渠の成功を見るものは
其明處を見るべし、其暗處を見るべからず。明處とは渠の志なり、鉄
意なり、節儉なり、自信なり、邁往なり、先見なり、獨立の氣象なり、敬虔の美

渠の明處

注目すべきもの

徳なり、生活の質素なり。此特色は渠が少年より老年に至るまで、貧兒より大富豪に至るまで、水呑百姓より石油大王に至るまで、首尾を通じ、生涯を貫き、恰かも人體の何處を刺すも血を見ざるはなき如く、何れの時何れの場合に於ても、曾て見るべからざるが如きことあらざりき。渠の怪富には秘密の伴へるものあるべし。渠の成功には黒班の點ずる者あるべし。然れども渠が成功の神髓は決して此秘密にあらず、又此黒點にもあらず、實に渠が生涯を貫通せる右の特色に在て存する。とは渠の評傳既に之を説き盡して復た茲に贅するの要なかるべきを信ず。唯彼は今後此巨富を如何に處分すべき乎。カーネギーを學んで富者の福音を世界に宣傳すべ乎、將たグールドを學んで富者の汚名を天下に流すべき乎。注目すべきは此一點に在るべし。

昔は司馬仲達孔明の歿後、祁山渭水の空營を按じ、歎じて以て天下の奇才なりといへり。英雄は英雄を知る。カーネギーの平生容易に人に

渠亦人傑

許さざるを以てして、たゞスタンダロド石油トラスト會社の規模組織を見るや、乃ち創業者の絶倫なる才幹を歎稱して已まず。果して然らば渠も亦人傑なる哉。



鐵道王ジエームス、ゼ、ヒル

建國的成功

(一) 『ヒル王國』の建立

老嫗たる
老松

ジエームス、ゼ、ヒルの墓木既に拱し、パンチントン亦靜に青苔の下に眠り、梅は散り櫻は枯る、米國の鐵道界に天嬌たる老松、亭々として猶參天の雄姿を髣髴せしむる者を、大北鐵道のジエームス、ゼ、ヒルとなす。

シカゴの西四百哩、米國東西兩岸の中央に位するセントポール市より太平洋岸に至る長さ六千哩、巾數百哩に亘る米國北西の大陸一帯を總稱して一名『ヒル、カントリー』といふ。さればとて渠は此間に於ける統治權を有するにも非ず。紫衣を着し寶冠を戴くにもあらず。其居る處は一鐵道會社の社長にして、其行ふ事は唯交通運輸の營利事業に過

鐵道策士
にあらず

ぎず。而して世人の之れを見ること此の如くなる所以のものは何ぞや。他なし、渠の大氣力大活動の結果として、現時世界の視聽を聳動しつゝある、米國西部の繁榮、茲に兀然とし生れ出でたればなり。即ち荒原漠々、猛獸走り、毒蛇眠れる米國北西の廣原を一變して、沃野千里、人烟稠密、世界に有名なる豊饒富裕の新國土とならしむるに至れるものは、實に渠が先見、堅志、猛行の結晶たる大北鐵道の賜なりと謂ふも決して過當にあらずを見るなり。如今モルガン。ロツクフェラー。ハリマンの徒皆鐵道の買収、統轄等を以て各鐵道王と稱せらる。然れども是鐵道策士の事のみ。渠の事業と日を同ふして語るべからざるを知らざるべからず。

(二) 直に三傑に接す

渠の事業は鐵道の敷設なり。然れども渠の目的は、之によりて米國の

事業目的

鐵道王ジエームス、ゼ、ヒル 建國的成功

二五七

勝利の人

征伏の人

建造の人

北西部に、富裕繁華の一新國土を建立し、又之によりて北西一帯の安寧幸福を増進するにありたりき。而して渠が此雄大なる目的を包藏して、大北鐵道の敷設に従ふや、其決心の堅確なる、其精力の強大なる、其活動の猛烈なる、殆んど建國者のソレにも劣らざるものありき。渠は貧困と戦ふて之に勝ち、境遇と戦ふて之に勝ち、天然と戦ふて之に勝ち、山に勝ち、河に勝ち、海に勝ち、陸に勝ち、荒野に勝ち、沙漠に勝ち、猛獸に勝ち、盜賊に勝ち、毒罵に勝ち、冷笑に勝てり。渠は困難を征伏し、障礙を征伏し、逆運を征伏せり。渠は荒野を變じて沃野となし、小村を變じて大邑となし、小都會を變じて大都會となし、無人の地を變じて繁華の地となし、大古時代の大荒地をして現代文明の新國土たらしめたり。其氣力の剛猛なる、其事蹟の顯著なる、之を前三傑の後に接せしむるも決して僭濫にあらざるを見るなり。

成功の原動

(三) 大頭の裡何物をか藏する

農夫

中學生

大頭兒

渠は鋼鐵大王の蘇格蘭に生れし翌年、即千八百三十八年を以て米國の北隣加奈陀オンタリオ州のウェントン一孤村に生れぬ。父は愛蘭人にして農耕を業とし、剛健質樸なる一農夫に過ぎざりしも、家道の窮乏ならざりしと父母の無學ならざりが爲、渠は小學校を卒へて更に中學に入り、數學羅典語、理化學等を習得し、他の醜畝帳場の中に生長せる多くの一代富豪に比較するときは遙に優等なる教育を受くることを得たり。渠の幼なるや、小身短軀、風采見るに足るものあらずと雖も、胸厚く、軀重く、髮太く、眼明に、人をして、精根の内に磅礴するを想見せしめたりき。殊に其頭顱の巨大なる、僂盞中に在て大頭兒の稱ありたりといへり。知らず此大頭顱の中果して何物をか藏したる?

好學

空想

學者詩人

渠は敏にして學を好み、其幼少の身を以て能く學事に熱心專一なる、天性の嗜好に出でたるが如し。渠は日課の外に、又小説、稗史、野乘の類をも愛讀せり。平生耕作を好まず、多く鋤犁を手にせず。暇あれば、輒ち書を読み、時には書を携へて深く林泉の間に入り、親しく書中の偉人傑士を尙友して、獨り自から夏雲の如き空想に沈湎し、恍然として世俗と相忘るゝこともありき。渠の襟懷は猶溪澗の清流未だ一點の俗塵を受けざるが如し。義を見ては勇み、患を聞ては憤を發し、或は學者となりて宇宙の秘奥を闢かんことを欲し、或は詩人となりて自然の美妙を歌はんかとも思惟したり。渠の父母が渠をして牧師たらしめずんば、醫師たらしめんと思ひ居たるに徴するも、亦以て渠が幼時の品性と傾向とを察すべし。

(四) 良好なる品性

(五) 巨頭に包まれたる二大特色

空想家
實業家とな
る

夢想力と
実行力と

然るに此空想家は一變して實業家となれり。窃に學者詩人を以て自から任せし渠は却て思も懸けぬ大事業家となれり。渠をして此く一端より、正反對なる他の一端に走らしめたる所以のものは、固より事情の之を餘儀なくせるものありたるに因る。然れども渠が此く幼時の傾向と正反對なる他の方向に走りて、しかも猶且稀有の大成功を獲得するを得たる所以のものは、其正反對と思惟したるもの、其實決して正反對にあらざりしが故なるのみ。

渠が巨大の頭顱には蓋し二個の卓絶せる特色を藏したりき。遠大な遠識力は其一なり。剛猛なる実行力は其二なり。遠識力のみありて、実行力なき者は固より事業家となる能はず。さればとて如何に實行力を有するも、遠大なる遠識力を有せざれば、又到底大事業家となる

火と油

鐵道王シエームス、ゼ、ロル成功の原動力

二六二

能はず。實行力は火なり遠識力は油なり。火油を得て茲に始めて炎々天を焦すの大火力を起し來る。南阿の巨人故セシルローズの如きは即是なり。ヒルも亦實に此二者を兼ね有したるなり。遠大なる遠識力ある者にあらずんば焉んぞ能く彼が如き大事業を企畫するを得んや。渠が遠識家より一變して事業家となりたるを怪む勿れ、是唯一方の遠識力のみを見て、他方の實行力を見ざるが爲のみ。

(六) 先づ運命開拓の舞臺を夢想す

青春の夢想正に耐ならんとして、渠は端なく其父を失へり。渠時に歳十五、一家支持の責任は忽ち蒼穹の如く渠の頭上に落來り、高遠美妙なる理想の天地に逍遙せる身は、卑俗にして且微賤なる一商店の片隅に匍匐せざるを得ざるに至れり。此に於て渠の遠識力は偶然にも其身を投じたる實業の舞臺に於て、徐ろに己が前途の風雲を夢想すべく

父を喪ふ
商店の小

き始めたり

渠曾てフエニモアークイバーの米國西部の風土に關する書を読む。以爲く其浩浩乎として際涯を知らざる大荒原は今や空しく蠻人野獸の馳驅跳梁に任すと雖も文明の活力一たび之に加はれば太古の遺跡忽ち一變して富源の開発殖産の勃興必ず世界を驚かすに足るものあるべしと。此に於て渠は己が運命を開拓すべき舞臺も亦必ず此前途有望なる新天地に求むるを得べきを遠想し、遂に家を舉げて米國の西部に移住するの志を決したり。

移住

(七) 發程の辛風慘雨

燦爛たる渠が成功の成果を見るものは、先づ渠が其發程に於て、如何に勇敢に如何に美事に世路の辛風慘雨を踏過せるかを見るべし。目的の地に移らんが爲には先づ旅費を備へざるべからず。渠は之が爲に

鐵道王シエームス、ゼ、ロル成功の原動力

二六三

且勤勞し且節儉して、豫定の旅費を蓄積するに三年の長く苦き歲月を消費せり。渠が此路用を腰に纏ふて、長亭短驛、踏み去り踏み來りて、漸く居を定めたるは渠が郷國の南隣なる米國シカゴの西四百哩なるセントポールにぞありける。今日こそ大北鐵道の起點として、殷富繁華、米國屈指の大都會なれ。當時は風物蕭條として見る影もなき一寒驛、此かる僻地にも好運の女神が光臨するの日あるべしとは遠識家にあらざれば到底想像する能はざる所なりき。

(八) 曇天の下に晴天を望む

渠が百方苦心の末、此地にて得たる職業は、波止場の人足なりき。元と此地は木材の積出地なり。附近の荒原より切出されたる木材は、車に運ばれて皆此地に集められ、此處より汽船に積込まれて有名なるミシシッピ河に送り出されたりき。渠の仕事は一日二弗の日給にて寒

暑風雨を問はず、毎日波止場の上に堆積せる木材を擔ひよるめく足を踏みしめながら岸より船に積込むにてありき。嗚呼、此波止場人足は會て科學を修め、羅典語を學びたる中學生徒なり。會て小説を讀み稗史を繙て、偉人傑士を尙友したる小學者小英雄なり。而して今や則此の如し。思ふて當年林間讀書の事に反べば、鐵石の丈夫も亦一擲の憤涙なきを得ざりしなるべし。然れども渠は成功せんが爲には如何なる艱苦をも辭せざるの決心を有せり。渠の胸中には希望あり、光明あり、成功あり。西の方背を決すれば、荒原漠々として草萊の天に連るを望む。文明の魔力にして一たび之に點火するの日來らば、忽ち活動勃興の新風雲を捲起するは疑ふべからず。而して此風雲に際會し機會を先取する者は、早くより其關門に移住して、形勝を制し事情に熟せる者ならざるべからず。而して渠の遠大なる遠識力は此の日の決して遠きにあらざるを想像せり。

明日と今日

一時の落魄我に於て何かあらん。渠は明日の晴天を望んで今日の曇天を忍べり。

(九) 大望の爲に愛情を忍ぶ

熱情の人

渠は冷血の人にあらずして熱情の人なり。然れども彼の僻物として何物にも制せられざる不敵の大望は能く其燃ゆるが如き青春の熱情を抑制して、多恨の人たらしめざるを得たり。事は渠が此窮困堅忍の下に於て、日々埠頭を上下する人足時代の頃なりき。渠の常に出入する岸頭の一小旅舎に明眸皓齒の小婢あり。渠の人物を草澤の間に鑑識し、而して渠又小婢の才貌を愛慕し、意氣投合、遂に相許すに、偕老の契を以てするに至れり。然れども渠には思慮あり、分別あり、大望あり。

小婢と戀を結ぶ

渠は未だ開運の端緒を得ざるに、一時の熱情に驅られて、軽々しく結婚するの不可なるを見、獨立の事業に到達するまでは決して同棲せざる

情人を學校に送る

べしと決心せり。而して更に其情人をして、將來巨人の配偶たるべき資質を養成せしめんと欲し、薄給の一部を割て之を學費に充て、此くして最愛の情人を東部の某校に入學せしめぬ。風晨月夕、切々綿々の思情を抑へて、前途を望み、將來を樂み、以て一時の堅忍努力を耐せざりし此特異の性格こそ、實に後年の大活動大企業を喚び起すべき原動力にてありしなれ。

運命の開展

(十) 且勤勞し且蓄積す

南北戦争

既にして南北戦争の破裂あり。舉國鼎沸、白髮の老翁も猶鋤犁を擲て劍戟を執り、紅顔の少年も猶書冊を棄て銃劍を肩にし、花の如き美人も道途に暴露して勇士の行色を壯にす。渠亦慷慨自から禁せず、北軍に投じて、人道の爲に戦はんと欲し、奮然身を挺して義勇兵の召募に應じ

たり。不幸にして視力の微弱なりしが爲、遂に其志に酬ゆる能はざりしと雖も、亦以て渠が腔子裡に一片の貴重なる美質を包藏したるを見るべきなり。

渠は失望して復た舊の埠頭に還へりぬ、既にして千八百五十六年一汽船會社の貨物掛となり、此處にて且鍛錬し且機會を待つと十年の久きに亘れり。此間渠は獨立營業の目的を以て勤勞の傍ら非常なる克己節儉を行ひ、千八百六十五年遂に其貯蓄を資本として、或鐵詰會社の獨立代理店を開業し、併せてセントポール太平洋間鐵道の代理商を兼ね、更に七年の後には遂に自から紅河通運會社を起し漸次運命の開展を見るに至れり。

(十一) 一閃の靈光遂に巨頭を射る

炯眼は能くカーチギヤをして鋼鐵王たらしめたるが如く、先見は能く

先見炯眼

破産鐵道

ロックフェラーをして石油王たらしめたるが如く、ヒルの炯眼と先見とは能く波止場の人足をして遂に鐵道王とならしめたり。

渠は既にセントポール太平洋鐵道の代理商とりたれども、當時該鐵道は營業上信用上言ふ可らざる慘狀に陥り、損失相次ぎ負債日に嵩まり、僅々四百哩の線路を以て三千五百萬弗の巨債を負ひ、壞裂糜爛殆んど收拾する能はざるの窮境に陥れり。人は之を呼んで破産鐵道と稱し、資本家は其名を聞くも猶且慳蹙し、ウォール街の老将すら皆冷笑して一顧をだに與へんとする者なく、唯危険を冒し奇功を喜ぶの徒時に一指を染めんとすることなきにあらざるも、一たび糜爛の内狀を知るに及べば、忽ち戰慄して却走せるはなかりき。此の如き鐵道の代理商たる渠の前途も亦甚だ心細からずや。

然るに渠は決して自から悲觀せざりしのみならず、却て破産鐵道の代理商たるに於て一閃の光明を認めたり。資本家は慳蹙し、策士は戰慄

一閃の光

靈活の生命

運命の大轉機

し、山に千年河に千年の老将すら、冷笑して手を下す者すらなかりしに拘はらず、獨り渠は此鐵道に於て靈活なる生命を認めたり。何をか一閃の光明といふ。他なし、渠が宿昔の志望たる大廣原大寶庫の開かるべき日の最早遠からざるを認め得たること是なり。何とか靈活なる生命といふ。他なし、渠は此大寶庫を開くの道唯破産鐵道を基線として、此大廣原に大鐵道を敷設するに在るべきを思ひ、而して一たび鐵道の大廣原を走るに至らば、企業有爲の人力は、忽ち潮の如く此新天地に吸収せられ、相率ゐて富源を開發し、文明を扶植し、鐵道と殖産と相頼り相資けて、今日の破産鐵道は一變して有望なる線路となるべきを信じたり、是實に渠が運命の大轉機たりしなり。

奮進突撃

(十二) 大氣力の活動始まる

氣運到來

確信と決心

大鐵道の計畫

セントポールに漂着せしより、燕去雁來殆んど二十年。其の間辱を忍び己に克ち、賤役を辭せず、艱苦を厭はざりし所以のものは、唯新氣運の到來して新天地の開くを待ちたるのみ。而して今や新氣運は遂に來れり。否、渠自から進んで新氣運を作り、新天地を開くを得べき機會と確信とを有するに至れり。如何んぞ心躍り氣勇まざるを得んや。一閃の靈光一たび渠の巨頭を射るや、渠は決して長く夢想の世界に彷徨することゝ爲さざりき。渠は東の方セントポールを基點として、西の方太平洋沿岸なるシアトルに達する大鐵道の設計を立て、其間に横はれるミネソタ。ダコタ。モンタナ等の各州に於ける寶藏富源を調査し、此事業が必ず米國の天地に一革命を喚び起すを得るの遠識と、破産鐵道を変して必ず有望鐵道と爲すを得るの確信と、如何なる困難に遭遇するも必ず遂行せずんば已まざるの決心とを以て、資本家の勸誘運動に着手せり。山の如き巨人の大氣力は、いよいよ多年夢寐の間に

往來せる新國土を建立すべく活動し始めたり。

(十三) 狂にあらずんば則愚

冷笑來る

世人は直に冷笑を以て渠を迎へたり。何者の好事者ぞ、財界の名醫もヒを用ゆるに處なく、株式の金傑も手を下すに由なき壞裂糜亂の鐵道に對し、無資無力の身を以て、猥りに空中の樓閣を畫かんとす。恰かも是蟬蛸の大樹を撼かさんと欲する者、狂にあらずんば則愚ならんのみと。世人の冷嘲も亦一理なきにあざりき。目を上ぐれば荒原漠々として千里唯草藨のみ、載すべきの人何處に在る、運ぶべきの貨何處に在る、此の如き荒漠無人の廣野に向て、貴重なる精力と資力とを放棄するは、沙漠に向て黄金を放棄するよりも更に念入りの愚者なりとは彼等の齊しく信ずる所なりき。且つ北を見れば英國政府の事業たる加奈陀太平洋鐵道あり。南を見れば米國政府の補助によりて敷設せら

れたる北太平洋鐵道あり。此等は米大陸の東西を横斷し。而して其營利は猶極めて微薄なりき。豈又更に新線路の此間に介立するの餘地あるを思はんや。是空中の樓閣のみ、書生の夢想のみ、盲者のみ、味者のみと。

(十四) 燕雀焉ぞ鵠鴻の志を知らんや

冷笑者か
冷笑す

然れども渠は又却て自己を冷笑する者を冷笑せり。此の如き他の大陸に於ては見るを得べからざる無限の寶庫が、北西數千里に亘りて、渺茫天に連るを見る能はざる者は、是盲者にあらずんば味者のみ。此の如き豊富なる廣野の大動脈となるべき鐵道が、殖産の先驅となりて、繁榮の利澤を享受するに至るを見る能はざる者は、是愚者にあらずんば則狂者のみと。人は渠が何の見る所ありて此の如き無謀の企業に熱中するかを怪めども、渠は又人が何の慮る所ありて此の如き有望なる

企業に冷淡なるかを怪めり。此の如き對照は古來大事業の成功者に於て往々見る所なり。

渠の期望は固より北合衆國の東西を聯絡するに在りき。然れども渠は又此大幹線が米國の東部より東洋に至る最近捷路なるを見たり。蓋し地球の經度は北上するに従て狹縮するものなり。故に鐵道を北太平洋の航路に聯絡するは之を南太平洋の航路に聯結するよりも交通上優勝の位地に立つ譯なり。渠の計畫は此點に於て北太平洋鐵道に勝ること遠し。渠は實に此積極的識見をも有し居たるなり。渠は昂然として自から思へり。燕雀何ぞ鵠鴻の志を知らんやと。

(十五) 渠は自信力の權化なり

四面楚歌身外無力しかも能く毅然として惑はず屹然として怯まず冷笑を冷笑し嘲罵を嘲罵し山を叱すれば山も避易し水に命ずれば水も

英米の精粹

退避すべき大氣力を漠々たる大廣原に横絶せしむるにあらずんば假令死すとも休まずと決心せる渠の自信力は實に英人の精粹と米人の特長とを遺憾なく表示したるものにして讚歎せざらんと欲するも能はず。渠は實に自信の權化なり。

勸誘成功

買収

奮進突撃

壯觀

此堅確なる自信力は遂に熱心にして且有力なる二三の資本家を奮起せしめぬ。此に於て千八百七十九年渠はスミス及ステフエンなる人々と協戮して愈々破産鐵道を買収しセントポール、ミチアポリス、エンド、マニトバ鐵道と改稱し社長の椅子は之をステフエンに譲り渠は之が總支配人として經營の責任と事業の全權を掌中に握り降り懸る冷笑毒罵を物ともせず滿身の精力と銳氣を集中して稀世の大事業に奮進突撃したる壯烈は他の有名なる事業家の經歷中にも多く見るを得べからざる壯觀なり。

(十六) 更に天然の強敵と戦ふ

精神一到何事か成らざらん。萬目環視の裡に、渠は破産鐵道を改良し、擴張し、延長して、天梯を横へたるが如き二線のレールは、一鎖又一鎖、日となく夜となく、漠々たる大廣原に向て伸長せられぬ。此に於て冷笑は變じて驚歎となり、嘲罵は變じて讚辭となり、曩に愚と呼び狂と譏れる者は、却て自から其愚を愧ぢ狂を悟るに至れり。

冷笑は驚嘆と變ず

然れども渠は更に天然の強敵と戦はざるべからず。其進路には開闢以來斧斤の會て入らざる大森林の遮るあり。渺茫として殆ど際涯を知らざる大沼澤の横はるあり。大隧道の穿たざるべからざるあり。落磯山の越えざるべからざるあり。積雪あり。堅氷あり。炎熱あり。飢渴あり。猛獸晝出沒し。土蠻夜徘徊す。時に中止の厄に遭ひ、時に死生の巷に出入し、其危険困難殆んど名狀すべからざるものありき。

中止の厄

死生の巷

然れども渠は平然として驚かず。能く危険を冒し、能く艱苦に堪へ、以て遂に天然をも征伏するを得たり。

(十七) 閃電的活動

大北鐵道の延長六千哩、千八百八十七年より工を起し、數年にして成る。其工事は八千七百人の工夫と六千六百頭の牛馬を使役し、叱咤督勵、一氣呵成して敷設せられたりといふも、敢て誇張にあらず。其間渠は或は馱馬に跨りて、山野を跋渉し、或は橈を飛ばして東西に奔走し、以て自から工事を督勵するの敏捷快速なる、今日此處に至るかと思へば、明日は彼處に在り、忽然として東に現はるゝかと思れば、倏然として西に出て、遂に工夫をして、是一人の奔走にあらず、渠と同身同面の者數人ありて、各地に配置せらるゝものなるべしと思惟せしむるに至れり。亦以て渠が活動の如何に閃電的なりしかを察するに足らん。

神出鬼没

夢想實現

鐵道王ジェームス、セ、ビルII奮進突撃

二七八

渠の夢想は遂に實現せられたり。波止場の人足は遂に鐵道王となれり。

(十八) 更に亞細亞の風雲を夢想す

昔亞歷山大王は馬を遠征萬里の盡頭に立て、潜然として歎じて曰く『此先最早朕の征伏すべき邦國なき乎』と。渠が最後の條軌をシャトルの水際に敷き終れる時は、又應に此感ありたるなるべし。然れども太平洋の烟波浩濤もやがては渠の夢想を防遏すること能はず。渠は更に首を擡げて亞細亞の風雲を望み、米國と東洋との聯絡を掌中に握らんと決心せり。此に於て先づ我郵船會社と特約を結び、日本諸港とシアトル間に定期航路を開かしめ、而して自から、二萬八千噸の大汽船數隻を新造し、以て太平洋上に活動するの計畫今や既に熟せるものありといふ。先年其女婿を露都に遣はして要路の顯官と交驩せしめ、歸途西

歴山大王

大汽船製造

深謀遠慮

比利亞を視察せしめたるが如き、亦以て其深謀遠慮を窺ふに足るべきなり。

成功の恩澤

(十九) 果せる哉新天地の現象

鐵道は文明の布教者なり。ビルIIの夢想は果して渠を欺かざりき。鐵道の敷設せらるゝと共に、好運を求め、事業を喜ぶの士は、東より西より北より南より、此新天地を望んで潮の如くに集り來りぬ。闇黒の天地は破れて光明の世界新に現出し、須臾にして村茲に湧き、町茲に生じ、又須臾にして村は町となり、町は都市となり、同時に荒野は次第に變じて青隴となり、沼澤は次第に化して黄畦となり、既にして青田空を浸し、麥浪天に連なり、五穀豐饒し、百貨輻湊し、寂寞たる大廣原は、數年ならずして殷富なる新天地と爲り了せり。曾て蠻人の出沒せしミンチンタ州

光明界現出

新天地

鐵道王ジェームス、セ、ビルII成功の恩澤

二七九

は今や二千萬石の小麥を産し、曾て猛獸の徘徊せしダコタ州も亦二千萬石の小麥を出し共に廣く世界の市場に供給せらる。其他殖産に、興業に、殷富に、繁榮に、漸次東部の諸州と相拮抗せんとするの盛況を呈するに至りしもの、一に其動機を大北鐵道の力に歸せざるべからず。否初より此かる新國土を目的として千艱を凌ぎ萬難を排して、此大廣原に鐵道を敷設せる渠の大氣力に歸せざるべからず。

(二十) 新天地に於ける事實の帝王

領土の開
發に盡す

渠は此新天地に於ける事實の帝王なり。蓋し大北鐵道の敷設ありて茲に新國土の開発あり。新國土の開発ありて茲に大北鐵道の發達あり。渠の新天地に於けるは殆んど帝王が其領土に於けるが如し。此に於て渠は管に鐵道を敷設したるのみにて能事茲に畢れりとなさず。或は農夫を説て電氣器械、蒸氣器械を農事に應用せしめ、或は自から模

『父』

範農場を設置して、當業者の參考研究に資し、或は自から集會に、演説し、或は技師を招聘して講話を開かしめ、殊に數千頭の牛馬を放ちて農民の自由使用に供せしむるが如き、凡そ沿線諸州の幸福と繁榮とを増進するに就ては、肝胆を碎き、私財を擲ち、移民を勧誘し、運賃を低減し、産業を奨励し、市場を開拓する等、熱心盡力殆んど至らざる所なし。故に新天地の農民は皆渠の助力によりて日新の器械を應用し、其農業は世界に於ける最新の制度と稱せられ、其生活は世界に於ける最高の状態と目せらる。居民皆渠を稱して『父』と呼べり。『ヒル王國』の名洵に空しからざるを見るべし。

成功者の面目

(廿一) 容貌、風采、態度、居宅

渠齡正に六十五。剛健黧黧少しも衰へず。女婿サムエル、ヒル高才を

鐵道王シエームス、セ、ロル成功者の面目

容貌

風采

態度

居室

感多少

以て樞機に參すと雖も、重要な機務は渠皆之を親からし、應酬快暢裁決流るゝが如し。短軀にして方身。巨頭にして重體。一見して老氣横秋精力過絶なるを想見せしむ。態度は冷靜にして極めて沈着。心事は柔和にして極めて寛宏。唯事に當るに及べば敏捷なること電光の如く、又時に獅子の吼ゆるが如き叱咤の聲を聞く。

渠の居室はセントポールに在り。宏莊なれども單純。唯堅牢を主とするのみにて、絶えて豪華驕奢の跡なし。蓋し天品の尋常富豪と同じからざるものあるに依る歟。窓を排けば、渠が四十年前日々重き木材を擔ふて波止場を上下せる堅忍の名殘、さては夫人が旅舎の小婢として賤業に従事しつゝありたる舊夢の跡をも見るべし。日夕眺望、知んぬ感多少ぞ。

(廿二) 渠は天成の經營者なり

天成の主助者

天成の經營者

渠は天成の主動者なり。渠は協議せず、納察せず、唯命令するのみ。太北鐵道に乗る者は、渠が兩手を背後に廻はし、大なる柔かき羅紗帽を耳の邊にまで深く打被りつ、且視察し、且命令を與へつゝあるを見ん。渠は何を爲すべきか、如何に爲すべきか、何人に爲さしむべきかに就て殆んど明知せざることなし。渠は部下の性格を知れり、才能を知れり、長短を知れり。而して其細微なるものに至ては何人が最も能く車を推し、何人が最も能く電柱に上るかをすら知れりといへり。

渠は又天成の經營者なり。渠は一弗と雖も使ひ足らざることなく、又一弗と雖も使ひ過すことなし。米國の鐵道は多くは銀行若くは投機の喰物たるが如き觀あるも、渠の巧妙なる經營と管理とは、決して此か

る方面より思ひ懸けなき危険の殺到する憂なく、其營業は常に安全にして且不斷の隆昌を保證すべき状態に在り。

故に渠の下に在る者は、如何なる小役の者と雖も、自づから渠の事務的

教練を受け、精妙と迅速との二點に於て、他の會社に在る者より遙に卓絶すとは殆んど一般の公評なり。若し故ありて渠の會社を出づる者あれば、假令免職せられたる者と雖も、猶且争ふて他に雇傭せらるゝといふ。

(廿三) 事業は最上の嗜好なり

讀書

渠は實業の人と爲りたる後も、猶少時讀書の趣味を忘れず。其文學、宗教、美術等の諸書を愛讀するの廣き米國富豪中稀れに見る所なり。又繪畫、珍石を好み、所藏家に滿つ。其他學校、會堂等の爲に時々巨財を擲つ。の外、諸種の遊戯に於て所謂富豪の嗜好なるものを有するを見ず。彼の車、犬、馬等に巨萬の財を擲ち、豪華を競ひ、驕奢を争ふ如きは、渠の初より慤慤して敢て爲さざる所なり。若夫渠が天性の嗜好を求むれば、双肩に責任を荷擔して、全力を事業の經營に專注するに在らん。事業

命事業は生

は渠の生命なり。渠は事業の爲に活く。否、事業は則ち渠なり。

成功の教訓

大企業家の巨像

成功の鍵

説き去り説き來て吾人は坐ろに遠識と自信と堅忍との三大要素を以て組み立てられたる『企業家』の巨像を眼前に髣髴せざらんと欲するも能はず。成功は猶金庫の如し。之を開くに唯一の鍵あり。堅忍は則ちそれ也。如何なる怪力あるも、鍵鑰を有せざる者は、到底金庫を開くに由なきが如く、如何なる天才あるも、堅忍の特質なき者は、決して成功の冠冕を頂くこと能はず。聰明渠を凌ぐ者、當時豈に其人なからんや。而して西部の寶藏を識認し、更に開發の日あるを豫想せし者、何ぞ獨り渠のみならんや。唯彼等は他の多くを知りて、或る一つのものを知らざりき。彼等は金庫の鍵を有せず、彼等は堅忍の特質を缺けり。顧みて、渠が邊

渠に學ぶ

鐵道王シエームス、セ、セル成功の教訓

二八六

阪の埠頭に、人夫の賤役を忍び、失望せず、焦躁せず、以て、徐々時運の到來に對する準備を爲したる堅忍と、其愈事業に着手するに及べば、衆難を睥睨し、群疑を冷笑し、勇進邁往、所信を遂行して、敢て惑はざるの自信とに想ひ到れば、英風四起、眞に懦夫をして決然奮起せしむるに足るものあり。渠に學ぶ所また茲にあらずとせんや。



月給 王 チャーリス、シユワツプ

奇才的成功

(一) 絶世の奇才

現代の三人男
米國にて異例

少壯高名を以て、現代の世界に群を抜き倫を絶つ者、先づ指を現獨逸皇帝、現米國大統領に屈し、而して布衣に在りては、乃ち米國製鋼トラスト社長、チャーリス、シユワツプを挙げざる能はず。就中シユワツプ最も年少、不惑を超越ること僅に一歳。其顯達の疾迅なる、急進早熟の風、近者宇内に比なしと稱せらるゝ、米國に於てすら、殆んど未曾有の異例として、齊しく驚歎する所なり。

今を距ること僅に二十年前に於ては、渠を可憐なる落魄の一少年として、褌袍戀々の情に描へざりし者亦少なからざりしならん。然るに此

月給王チャーリス、シユワツプ奇才的成功

二八七

絶世の奇才

可憐の少年は、白駒の隙を過ぐるが如き短少の期間に於て、從來何人と雖も未だ曾て攀ぢたることなき最高級に登り、日本政府の歳入に十倍する大資本の事業を經營し、二百七十箇所の大工場を管轄し、數十萬人の職工を支配し、殊に經營の能、學問の才兼ね備はりて、世界の製鋼事業に一新紀元を劃するに至る。其昇進の速度や異常稀有といふべく、而して其人や又實に絶世の奇才といはざるべからず。

(二) 亦快男兒なる哉

直江山城

米國の富豪多くは自營的實業家なり。獨り渠は然らず。渠は直江山城守なり。山城雄才人に絶し鬼膽一世を吞む。既に天下を争ふに意あり、起て一城の主となる何の難きことか之あらんや。唯其謙信に對する知己の感應は、遂に此好漢をして意を封侯に絶ち、終世陪臣たるに甘ぜしめたる如く、渠のカーチギに對する知己の感應は、

年俸百萬弗

遂に此奇才をして、意を獨立の事業に絶ち一箇の雇人たるに甘ぜしむるに至れり。

渠の俸給は年額百萬弗と稱せらる。此の如き巨額の俸給は、固より前に古人なく、又暫くは後に來者あるを必ずべからず。聞くカーチギの猶未だ退隱せざるや、深く渠を鍾愛して措かず。遂に百萬弗の年俸を給與するに至れり。居ると一年、製鋼トラストの議起る。渠は此の如き破格の俸給あるが爲、或は知己の希望を阻止するに至らんとを慮り、一日潜に往て合同策士モルガンを見、自己の俸給の如きは敢て問ふ處にあらざるの意を明にし、其面前に於てカーチギより交付せられたる年俸百萬弗の辭令を寸斷したり。此に於てモルガンも亦大に渠の意氣を喜び、特に渠に對して此破格の俸給を繼續するに決したりといふ。果して然らば、百萬弗の年俸は是渠の位地に伴ふ定規の俸給にあらずして、獨り渠の異能奇才に對する特別の報酬のみ。たとへ製鋼

月給王

會社の社長の椅子は今後幾たびか其主を更ふることあるも、月給王の稱號は依然として暫く渠の獨占に歸すべき歟。

成功の原動

(三) 一種出色の面目

渠は米國富豪中に在て一種出色の面目を有せり。即富豪中に異數なる大學の出身者なること是なり。

好風景の山村

カーチギーが製鐵の地を距ること餘り遠からざるアレガニーの高原を上りくゞてやがて絶頂に達すれば、茲にローレットと名くる一山村あり。地幽にして境靜に、山青くして花燃え、風光の美なるは、宛ながら神の手づから造り成せりと思はるばかり。煙突の煙、鐵槌の響が、未だ此山麓を俗了せざりし昔、ガリツチンとて、やんごとなき露國の皇族布教の爲に此山村に居を定め、宗教と文明とを、清き泉と共に四隣に流

紀念大學

せる高德の遺跡あり、更にそが紀念にとて建てられたる大學の巍然として、煙樹の間に隱見するなど、風光の美、懷古の情、なかくに捨て難き勝地なりと。

出生

渠は千八百六十二年ペンシルヴァニア州ブレイヤ郡の一小村に生れぬ。父は附近の毛織工場に雇はれて、僅に家道を支へしが、生計意の如くならざる爲、渠は十歳の時父に伴はれて、此ローレットの山村に來り、紀念大學の附屬小學より漸次進學して、遂に工科大学に入り、早くも技師を以て身を立つるの志を定め、其學資に窮するや、學業の傍ら、或は父の職業を助けて郵便馬車に鞭ち、或は農家に傭れて、田圃に耕し、力行苦學、十八歳を以て遂に大學を卒業するを得たり。渠は工業界の成功に、高等教育の必要なるを示せる、最大の實例なり。

少年時代

(四) 成功の特徴自から見はる

特色の一

特色の二

特色の三

特色の四

郵便馬丁

渠は幼少の頃より敏才衆に超え、敏智面に溢れ、既に大學に入るに及ては數學、化學の智識を修得すること最も敏速にして、頗る教師の囑望する所となれり。加ふるに容貌は瀟洒、氣象は快活、殊に性情頗る善良なりしが爲、其小學時代より大學卒業の後に至るまで、殆んどローレツトに於ける全村の寵兒なりき。家に在りては家人に愛せられ、寺院に在りては僧尼に愛せられ、學校に在りては教師に愛せられ、野に出ては農夫に愛せられ、到る處に寵光を浴び、到る處に朋友を作り、愉快に且幸福に少年時代を經過せり。

渠は又當時より既に衷心の歡喜を以て凡べての仕事に對したり。如何なる苦學も、渠に在ては苦學と見えぬ。如何なる義務も、渠に在ては苦痛と見えたることなし。渠は曾て苦學の爲に郵便馬車を追へり。然れども渠の得々として馬を追ふを見る者は、此の如き愉快なる仕事のまたと他にあるべきやと思はるゝ程なりしと。渠は又曾て苦學の

農夫

爲に農家に傭はれたり。然れども渠の欣然として耕耘に餘念なきを見る者は、其希望が農夫となるに在らずやと疑はざるを得ざる程なりと。

立志の少年

(五) 大志を懷て郷關を出づ

然れども渠の胸底には勃々として禁ずべからざる大志ありき。啼鳥を聴き、落花を眺めて、山村泰平の民となるには、渠は餘に大望なりき。

渠がローレツトに移りし頃より、此高原の麓には、カーネギーの製鐵工場幾つとなく建設せられ、俗界の魔風は四圍の風景を殘賊すると同時に、端なく立志の動機を此山村の寵兒に與へぬ。渠の大志は高原の下なるブラッドツクのカーネギー工場に在りき。今や既に工科大学を卒へたり。其才藝は教師の稱讚する所なり。人に超ゆるの勤勉と決して撓まざるの堅忍とは深く自から信ずる所なり。其猶學窓に在

機立志の動

志胸底の大

船關を出

る當時より春風夢を吹てブラッドツクに落ちたること幾たびぞや。永くローレットに在るは生きながら埋葬せられたるに同じ。男兒豈に空しく老いんや。渠は遂に志を決して別を親愛なる郷人に告げ明媚の風光を後にして馴れし故郷を出でたり。郷人舉て別を惜み手を把つて泣下る者あるに至る。

(六) 渠は唯自己を恃めり

渠は徘徊願望しつゝブラッドツクの街に入りぬ。顧みれば一人の知己あるにあらず、紹介を請ふの友人もなく、斡旋を頼むの便宜もなく、四顧茫茫として宛ながら孤舟の海洋に浮べるにさも似たり。然れども渠は決して失望せざりき。渠は友人を恃まず、唯自己を恃めり。紹介を求めず、唯自から薦むるの日あるを信じたりき。自助して立ち獨立して行く。是實に渠の生涯を一貫せる一大精神なりき。

自助獨立

此に於て渠は自から薦むる日來るを待たんが爲、或る食料店の手代に雇はれぬ。

(七) 志望のある處機會も亦在り

志望と機會

志望の有る處機會も亦在り。渠が日夜接近の機會を得んと希願せるカーネギー工場の職員等は、屢々此店頭に來りて、渠の手より雜貨を購ひ、渠と言語を交ふことも亦一再ならざりき。渠の熱心は遂に開運の鍵を茲に見出しぬ。一日鐵工場の課長ジョンズなる者買物の爲自から店頭に來れり。

開運の鍵

好機會

嗚呼、是何等の好機會ぞ。此機會を捉ふるとを爲さずして、復何の日にか自から薦むるを得ん。時乎時、再び至らず。浮沈唯此一時に在り、此に於て渠は死力を出して、此機會を捉へんとせり。時正に盛夏、渠は先づ口を開きぬ曰く『暑き日と思召されずや』曰く『然り。併し工場の事を』

日給一弗の杭打

思へば此處は寧ろ涼地のみ「機會は此く開展せり。渠復た何をか躊躇せんや曰く『誠に然らん然れども貴下、余は涼しき此處に在らんよりも、寧ろ暑き工場に居らんとを望むの念に堪へず』曰く『君は工場を好むか』曰く『余は貴下の工場に雇はれんとを畢生の志願とせり、貴下願くば余を川ひ給はれずや如何なる勞働と雖も力の許す限り、唯貴下の命ずるまゝ……』」ジヨンス聽て頗る之を異とし、更に其修業の深さを聽き、且其容貌の凡ならざるを觀て、遂に其請を容れ、先づ最下級より始めしめぬ。日給一弗の杭打は渠がカーチギー工場に於ける最初の階段なりき。

成功の神速

(八) 最初に於ける三大覺悟

潜龍は遂に雲雨を得たり。以後は唯滿身の銳氣を鼓舞して、昇天を圖るの一あるのみ。渠はカーチギー工場の人となると同時に、大要先づ

第一覺悟

左の如き覺悟を定めぬ。

第一は主家の利害を以て自己の利害となすに在り。即ち如何なる勞務と雖も、命令のある所、職務の存する所は、事務の高下、仕事の大小に關せず、主家の利害即自家の利害の感念を以て全力を之に傾注するの覺悟是なり。

第二覺悟

第二は身先づ事業の主人となるに在り。即製鐵事業に關する事は、技術の巨細、機械の委曲より、原料の購入、製品の販賣に至るまで、先づ悉く之を知悉し、製鐵事業に關する限りは、如何なる職務に當るも、之を經營すること、猶己が四肢五骸の運用に於けるが如くならんことを期するの覺悟是なり。

第三覺悟

第三は任務以上の積極的勤勞を敢てするに在り。即既に主家の利害を以て自己の利害とする以上は、單に己が常務を盡すに止るが如き消極的勤勞を以て自から得たりとせず、更に進んで其任務以外即報酬以

上の積極的勤勞に服し、因て以て會社の利益を増進するを圖るの覺悟是なり。

(九) 渠は沙礫中の眞珠なりき

まことやジョンズの言へるが如く、工場工場内のの苦熱は實に意料の外に在り。通風爐の高き熱度は、身をも焦がすばかり。大鐵槌の重き勞作は、骨をも碎くばかり。一たび此處に入りたる者は、唯此苦熱を浴び、此激働を見たるのみにて、既に肉は溶けて汗と化せんとするなり。況んや終日此處に在りて躬から勞働する者に於てをや。

然れども渠工場に於けるの顔には常に不斷の微笑ありき。渠の眼は常に磐根錯節に向て注財せられ、渠の手は常に新なる仕事を捉ふる忙はし。加ふるに、敏智満面精力満身、其舉動は俊敏にして蒼鷹の如く、其才力は縦横に創造に富み、其用意は周匝にして遺算なく、命ずれば如何なる事と雖

も必ず果し命ぜるも斷へず何等かの新なる成績を齎らし來る。所謂裸躰にて沙漠に擲げ出さるゝも必ず成功すとは、此の如き人格を謂ふなり。眞珠は砂礫の中に雜はるも必ず拾はる。此の人格を有する渠、如何んぞ永くカーチギアの注意を惹かずして止むべけんや、否渠は殆んどカーチギアの理想的青年なりき。居ること僅に半歳、課長ジョンズの専務理事に陞任すると同時に、渠は一躍して恩人の後を承け、ブラッドツク工場の課長となりぬ。

(十) 可憐なる小戀愛譚

渠が煤烟の間に働き、塵埃の裡に眠れる成功試験の時代に於ても、夜深く人靜まる時には、夢魂飛でローレットの青山綠水に還へらざるの夜としてはなかりき。

渠の猶故郷に在るや、エムマと稱する花の如き少女と相親めり。春は

工場内の
苦熱
工場に於ける
人格

理想的青年

一躍昇進

相愛の情

離愁

蝶となりて花の間に戯れ夏は鴛鴦となりて水の上に浮ひ秋は山に上りて共に木の實を拾ひ冬は榻を聯べて爐邊に稗史を讀み遂に深く將來を契り互に樂しき未來の早く來らんことを祈りたりき。既にして渠は志を立て、郷關を出でざるべからざるに至れり。少女は悲に堪へず行を送れば悄然として歩むこと遅々別に臨ては惆悵として涙欄干、渠は忍び難きを忍び別れ難きを別れ、志成るの日は必ず迎へて家を成すべきを約し、且慰め且勵して袂を分てり。一別音容復た見るべからず、佳人腸九廻、花を見ては、空しく懷舊の涙を濺ぎ、鳥を見ては、徒らに相思の情を寄せ、春を怨み、秋を悲みて、相待つこと二年。遂に樂しき未來は來りて、渠が課長となりたる翌年、恩人シヨンスの贊助を得て、迎へて室となし、茲に樂しき家庭を作りぬ。

結婚

(十一) 大學教授をして驚嘆せしむ

勉強深更に至る

内助の功

餘暇の利用

渠は此深情にして貞淑なる會心の伉儷に於て、從來曾て見ること能はざる熱心なる協同者を得たり。此に於て渠は職務の傍ら製鐵の改良に最も必要なる化學の研究に従事せんが爲、自宅に化學實驗室を設け、日暮會社の事務を畢へて家に歸れば、直に妻と共に實驗室に入り、頻りに鐵塊を分拆して深更に至らざれば寢に就かず。妻氏も亦熱心に良人の研究を補助し、良人が工場に出勤せる間も、自から種々の試験を爲し、良人歸宅の後は成績を報告し、良人をして其研究に少なからざる便宜を得せしめたり。

此の如くにして得たる渠が化學と數學とに於ける智識は、大學教授と雖も舌を捲て其深邃なるに驚嘆する所なり。渠は後年製鐵事業に幾多の大改良を施し、遂にカーチギーをして世界の鋼鐵王たるに至らしめたるものは、實に此職務に盡瘁するの餘暇を以て、専門的智識の修養に熱心従事したる結果ならずんばあらず。

(十二) カ翁をして心酔せしむ

風靡 融解 屈服 成績

如何なる難事も、此の如き才力氣力の前には風靡せざるを得ざりき。如何なる障礙も此の如き勉強力奮進力の前には融解せざるを得ざりき。而して如何なる宿將老臣も此の如き重要有爲の人物に對しては屈服せざるを得ざりき。六年間の成績は一々枚舉に堪へず。渠は從來一箇の熔鑛爐を有するに過ぎざりしカーチギー會社をして、九箇の大熔鑛爐を有せしむるに至れり。渠は新に混鑛爐なるものを發明して、世界の冶金界に恩人ジョンスの名聲を轟かしめたり。渠はホームステットの工場をして、約五十箇の製鋼爐を備へしめ、年額百萬噸の鋼鐵を世界に供給せしめたり。殊に米國海軍省より、夙に軍艦用甲鐵の製造を依頼せられたるに對し、會社の重役等は其事の新奇にして、重大なるに辟易し、巡逡躊躇

カ翁心酔

容易に決する能はざるや、渠は直に之が設計書を作り、カーチギーに謀りて之を斷行せしめ、遂に同工場をして世界に於ける有數の甲鐵製造所たらしめたり、其奇才縱横向ふ所破れざるなく、企て、成らざるはなく、所謂人觸るれば人を斬り、馬觸るれば馬を斬るの快手腕に對しては、流石のカーチギーも恍惚として心酔せざるを得ざりしなり。

(十三) 大會社の盛衰を双肩に擔ふ

昇進又昇進

大なる功績は又やがて大なる昇進なり。渠は猶冀を擴げて天空に翔け上るが如し。何物も渠の昇進を妨害するものあらざりき。間もなくエツヂャー、トムソン工場の監理となり、次でホームステッド工場の監理となり、到る處改良と擴張と繁榮とを伴ひ、然かも其才力は綽々として餘裕あり。三十歳にして更に此二大工場を兼轄し、同年の青年が未だ曾て負擔したることなき大責任を擔ひ、兩箇の事務特色共に各差

年俸百萬

大責任

後顧の憂
なからし

別あるに拘はらず、此二頭の悍馬を御するに、操縦駕御此の困難を覺えず。カーチギーの之を見ること猶魚の水に於けるが如く、千八百九十六年遂に組合人の一人に推舉し、更に千九百年カーチギー會社の社長に任じ、給するに百萬弗の年俸を以てするに至れる、實に之が爲也。數萬の職工を監督する、既に一の大責任なり。潮の如くに流入する注文を受け、更に之を世界の各地に向て發送する、是又一の大責任なり。況んや此大會社を双腕の間に指揮し、激烈なる競争の舞臺に立ち、職工を優遇し、製品を精良にし、經費を省減し、價額を低廉にす。奇才彼の如きにあらざれば、誰れか能く之に當らん、而して渠は能く此大責任を一人の双肩に擔ひ、殆んど過誤遺算の指摘すべきものなく、カ翁をして旅行著作に耽るを得せしめたるのみならず、其後半生の大事業たる財産の寄附分配に着手するを得せしめたるもの、實に渠が此大責任を双肩に擔ふて、復た後顧の憂なからしめたるに、因らずんばならず。

成功の側面

(十四) 社長としての一特色

大局の明

微細の眼

彼は鐵也

皆僥服す

渠は社長として能く大躰に通じ、大局に明なりしと同時に、其精緻なる眼光は又能く職工の指頭、機械の微動にまでも透徹したりき。渠が事務所に在りて事務を處理するや、大小の機關は其指揮によりて運轉し、職工は其願使に依りて動作せり。渠は直に鐵なり。實際に於ても學理に於ても凡て工場内に於ける事柄に關しては萬能通ぜずといふことなし。故に渠工場を巡れば、職工等は其缺點を見出されざらんが爲に、孜孜として其職務に精勵するなり。而して若し疎虞懈怠の跡ある時は、嚴責峻罰毫も假借せざると同時に、勞働者として之を待つ時は、溫言慰藉宛も慈母の赤子に於けるが如く、爲に事務員職工等皆之に悅服して、多くの他の會社に於けるが如く不平怨嗟の聲を聞くこと極めて

稀なりしといふ。

(十五) 渠は一種の社會主義者なり

文明の悲劇

資本家の

對職工の

近世文明の裡面には一の悲劇あり。粉骨の激働に服し、汗血の辛苦を積み、猶且飢に啼き寒を訴ふる労働者の慘狀是なり。労働者自身の罪も之あらん。然れども所謂事業家亦決して罪なしとせざる也。彼等の多くは自から食ふことを知りて、利を分つことを知らず。過大の労働を誅求して、過少の報酬を提供す。是社會主義の勃然として激成せらるゝ所以なり。渠は此社會の缺陷に對して、救済の意見を懐くこと久し。而して之を自家の閱歷に顧み、之を社會の現狀に稽へ、労働者は資本家に對して、必ずしも戰闘的態度を取らざるも、資本家の善良なる意志と、労働者の忠實なる勤勞とにより、平和的手段を以て、兩者の協戮調和を圖るの餘地あるを信ずるが如し。其卓越なる才力により

て節減し得たる事業の贏利は、資本家をして成るべく之を職工の優遇に使用せしめ、又伎倆あり誠實なる者に對しては、別に昇進優待の門戸を自由に開放するなど、また以て其労働者に對する同情を窺ふに足らん。

(十六) 渠の前途は一種の疑問

トウスト演説

社長となる

辭職

千九百一年、米國國立銀行催主となり大會宴を紐育に開く。朝野の名士皆會同す。渠起て事業の聯合と經濟の發達に就て一場の演説を爲せり。モルガン亦座に在り。傾聴の間意頗る動く所あり、乃ち起て直に鋼鐵會社の合同を策し、カーチヤー會社以下皆其巨腕の下に結合せらる。米國製鋼トラスト茲に成り。渠は更に選ばれて其の社長となれり。

最近の報道は、渠が製鋼トラスト社長の職を辭したるを傳ふ。或は病

を得たるに因れりといひ、或は重役と意見の合はざるものあるが故なりといひ、未だ孰れか真なるを知らず。知己既に去て四圍皆利慾の徒のみ。辭職の原因其れ或は後者に在らん乎。此奇才の前途も亦一種の疑問たるべし。

渠の資産は既に積んで二十萬弗に及ぶ。俸給に衣食する者としては、蓋し推して巨擘となさざるを得ざるべし。二十年前渠が涙と共に後にせるローレットの山村も、亦其寵兒の福運と共に、今や美麗なる文明の市街となりぬ。

成功の教訓

カーチギの常に青年を誡むるの語に曰く「實業界に於ける青年は、會社の首長たるべしとの理想を一刻たりとも念頭より離すこと勿れ。而して正道を賤み、正經に依りて之に達せんことを誓ひ、如何なる誘惑

資産

公共事業

カーチギの訓言

あるも、決して注意を他に轉ずることなからんを期せよ」と。シユワツ

プは實に之が事實の説明者なり。

渠は一日一弗の初より既に會社の首長たるべしとの理想を懷て奮勵したる青年なり。而して渠が大志を抱て泰平の山村を後にせる、渠が他人の力を頼まずして自己の力に依頼せる、渠が項上の位地を望んで一意之に達せんと勉めたる、渠が主家の利害を以て直に自家の利害とせる、渠が常に位地以上に卓越し、職務以上に精勵し、以て自己を必要缺くべからざる一員たらしめんと勵めたる、一としてカーチギの青年に對する理想を躬行したるものにあらざるはなし。是豈實業界に於ける一般青年の好模範にあらずや。

好模範

銅山 王ウヰリアム、エ、クラーク

冒險的成功

(一) 冒險的氣象の好實例

米國は無盡の富源を有し、又頗る地下の寶藏に富む。而して此寶藏を叩き、此金庫を開て、産を興し富を成し、以て富豪の列に入りたる者、斗量載車數ふるに勝ゆべからず。中に就き其人物、經歷に於ても、其勢力、實力に於ても、共に聳然として、當代に傑出する者を銅山王ウヰリアム、エ、クラークとなす。

冒險的實業家

渠は冒險的實業家なり。其大望は以て乾坤一擲の壯遊を試むるに足り、其膽勇は以て生死一髮の大險を冒すに足る。征行千五百哩、野に寝ぬ山に臥し、險を超え危きを度り、殆んど死して又活くるもの幾ぞたび。

機を見て動けば生死もまた顧みる所にあらず、志を決して行へば安危は必ずしも問ふ所にあらず。又快男子なる哉。

精緻なる考慮周到なる注意

然れども其險を冒すや、敢て僥倖を期せず、必ず精緻なる考慮の之に伴ふあり。其危きを履むや、敢て幸運を祈らず、必ず周到なる注意の之を導くあり。他の暴虎憑河死して悔なき者とは同日に語るべからず。

誤解と教訓

鑛業は一種の冒險なり。而して冒險の成果は多く幸運と同一視せらる。幾多の青年は此誤解の爲に誤られ、相率ゐて失敗に窮死す。此誤解を排し、此觀念を斥け、真正の冒險は必ず精緻なる考慮と、周到なる注意との指導に依らざるべからざることを事實に示す者、クラークの如き者は蓋し鮮し。

(二) 世界第一の銅山

米國は世界最大の産銅國なり。其一年の産額約一億萬圓。而して其

世界の銅山王

大部分は實に渠の所有する銅山の産出に係る。渠は嘗に米國の銅山王たるのみならず、又實に世界の銅山王なり。

ウヰルテ銅山

世界の銅山をいふ者、今日に在ては何人も先づ米國ロッキン山中のウヰルテ合同銅山を挙げざるを得ざるべし。是實に渠の所有する銅山中の最大なるものにして、又世界に於ける銅山中の最雄なるものなり。現時一年の産額三千萬圓。其設備の整備、機械の精良、規模の廣大、すべて他山に冠たるのみならず、其鑛脈の豊富なる、殆んど寶藏無盡と稱せらる。今を距ること七年以前、米國の或富豪は、之を一億五千萬圓にて譲り受けんと申込みたることあるも、渠は辭して肯かず。余は事業の爲に、賣らんが爲にするにあらず」とて之を拒絶したりといへり。以て其寶藏の豊富なるを見るべく、亦以て渠の意氣をも察すべし。

冒険の動機

(三) 渠は冒險的血統を有せり

母系

父系

渠が母系の先は佛國人なり。然るに其冒險的氣象は、之をして故國に安處せしむる能はず、遂に海を渡りて、蘇格蘭に移住せしめたり。渠が父系の祖父は愛蘭人なり。然るに同じく其冒險的氣象は、之をして故國に安處せしむる能はず、遂に八重の潮路を凌ぎて、遠く米國に移住せしめたり。渠は此の如き父系の遺傳と母系の系統とを承けて、千八百四十年ペンシルヰエニヤ州の一農家に生れぬ。

農耕力作

渠は其少年時代を父の農圃に費せり。僅に冬季の農隙を利用して學校に上るの外は、殆んど一日たりとも鋤を手にし、鋤を揮ふて、力作を事とせざる日とはあざりき。焉んぞ知らん此力作こそ則、殆んど十年の間、渠の心身を鍛鍊し、以て後年非常なる冒險に耐へしめたる無二の恩人ならんとは。

(四) 青春の血沸き肉躍る

金坑の熱

時は加州カリフォルニアの金坑發見後僅に數年を経過せる頃なりき。世は金坑の熱に酔ひ、人は黄金の夢に狂し、商人は牙籌を投じ、農夫は鋤鋤を捨て、相争ふて落日の方位に向へり。『西へ』『西へ』の聲は到る處に反響し、『發見』『發見』の噂は波の如く重疊して傳はり來りぬ。

血沸き肉躍る
西に向ふ

渠は十七歳にして、父と共にアイオワ州に移り、此處にて始めて中學に入り、金坑發見の頃は恰も地方の學校に在りて自から教鞭を執り居たりき。然れども人の潮の滔々として西に流るゝを見、噂の波の繋々として西より來るを聽ては、青春血氣の身の争てが血沸き肉躍らざらんや。冒険の氣象鬱勃として禁ずる能はず。遂に意を決して別を父母に告げ、開運の舞臺を西方に求むることゝなしぬ。

(五) 險を冒すこと一千五百哩

牛を追ふ
て進む

七百哩
五十哩

渠の注意周到なる、先づ冒険の資本として數頭の牛を買ひ、且之をして車を挽かしめ、自から之を追ひつゝ、西方に向て出發しぬ。漠々たる高原西に連なると、七百五十哩。日落つれば、牛と共に、寝ぬ、日出づれば、牛と共に歩み、一日又一日、旅に暮れ、旅に明すこと、四十五日、風雨の難、盜賊の難、有らゆる辛苦を凌ぎて、遂に目的地たるサウスバークに着しぬ。

渠は先づ坑夫となり、此處に足を留むること一年有半。既にしてモンタナ州のバンノックに又金坑の發見せられたるを聞き、冒険の志勃勃として止むべからず。乃ち再び一隊の牛群を追ひ、更に西方を指して、又もや危険なる行路に上りぬ。

七百哩

サウスバークよりバンノックに至るの間、高原、疊嶺、七百哩、野には盜賊の横行して、旅客を脅かすあり。森には蠻人の出沒して、毒矢を放つあり。山を超ゆれば、山の險あり。水を渡れば、水の險あり。其行程の危険なる、其旅行の困難なる、今日に於ては、到底想像する能はざる程なり。

き。渠は唯不撓の堅志と不敵の勇氣とに護衛せられ、辛風慘雨、六十五日の苦行を経て、遂にパンノックに到着しぬ。
渠は牛を賣りて採掘の権利を買へり。時正に嚴冬。寒冽骨をも劈く如き氷水に兩脛を没し、終日辛苦勞働して、且採り且蓄へたる結果は、僅に九ヶ月の後に至りて、三千圓の巨額に上れり。

真正の冒険

(六) 渠は大實業家の風格を有す

今や好運は眼前に横はりて、唯人の來り捉ふるに任す。黄金は地上に委して、唯人の來り拾ふに任す。此處に集り來れる十萬の群衆は殆んど狂して、酔へるが如し。渠も亦同じく酔る且狂すべき乎。
否。渠は酔る且狂するには餘りに思慮あり。渠は此の如き浮薄なる

最初の三千圓

酔る且狂す
異常の特
點

機を見る
敏

冒險的實
業

幸運の決して永續するものにあらざるを感じ、僥倖の永く恃とするに足らざるを悟り。而して、開運の第一秘訣は、直接、碎金を拾ふにあらずして、間接に之を十萬の坑夫に拾ふに存するを認め、直に身を變じて、金坑地の商人と爲れり。何ぞ其れ機を見るの敏なるや、渠か普通の冒險者流と選を異にして、大實業家の風格を有するもの實に茲に在るなり。

(七) 渠の成功は冒險の賜也

冒險的労働者は一變して冒險的商人となれり。金坑地に於ける商品の需要と利益とは非常なるものあり。渠の機を見るに敏事を爲すに果敢なる直ちに拾ひ得たる三千圓を懐にして、遠くソルトレーキ市に出で、坑夫の必需する麵粉、鹽豚等の食料品を極めて廉價に仕入れ、例の勇敢と大膽とを以て、運搬の困難、途上の危険に打勝ち、之を金坑地に齎らし來りて、先づ一萬五千圓の巨利を得たり。

成功又成

銅山王ウヰリアム、エ、クラーケル真正の冒險

三一八

小賣商人は更に一變して卸問屋となれり。機敏の前には失敗なし。爾來或は雜貨店を開始し、或は郵便物の運搬を請負ひ、千八百六十八年には遂に紐育の一資本家と合同して銀行をモンタナに興し、依て以て金坑州の金融と商業とを支配するに至れり、其間實に數年に過ぎず。而して此の如き成功を見るに至れるもの、要するに實業的才能と冒險的氣象の致す所にして、彼の幸運僥倖の如きは決して之に参加するの權利を有せざるなり。

(八) 世人は渠の細心遠慮に驚く

西部の一漂泊兒は遂に新開地の大銀行家となれり。此に於てか其鑛山に對する宿志大望はいよく實行の機會を發見せんが爲に動き始めぬ。

然れとも渠は山中に彷徨して、遺ちたるを拾はんと焦躁るが如き僥倖

考察力

學校に入る

細心遠慮

者にはあらざりき。其冷靜なる考察力と周到なる注意力とは、先づモンタナ金州に於ける鑛業發達の狀況を究め、地勢、地文、鑛脈、鑛質、需要、販路等に就て、詳細緻密なる觀察を下し。且其消長盛衰の趨勢をも熱心に注視すること數年の久しきに亘り、爲に其智識の精通該博なる、斯道の専門家と雖も、遂に一步を譲らざるを得ざるに至れり。

此に於て渠が鑛山を買収すべしとの噂は到る處に傳はれり。然れども渠は鑛山に往かずして學校に往けり、勢力あり、資産ある銀行家として、渠を壯麗なる事務所の頭取室に見たる世人は、今や紐育コロンビア大學の教室に學生の制服を着し、手帳と鐵筆とを手にして、冶金學、鑛物學等の學習に餘念なきを見たり。世人は渠が大銀行の頭取より、一大學の一書生となりたる境遇の激變よりも、寧ろ其事業に關する智識の一切を知り悉すにあらざれば、決して輕々に手を下さざる細心遠慮に驚きぬ。

銅山王ウヰリアム、エ、クラーケル真正の冒險

三一九

(九) 時勢を明察し機會を敏捉す

既に銀行を有し、既に鑛業の實況を知悉し、而して又既に鑛物學の智識を學習す。企業の準備も此に至てまた遺憾なしと謂ふべし。唯問題は如何なる鑛山を買收すべきかに在り。

時は宛かも十九世紀の末葉に際す。蒸氣萬能の時代漸く去りて、電氣應用の時代將に來らんとし、之が傳通者として銅線の需要次第に盛ならんとするの頃なりき。渠の趨勢を察し、且機會を捉ふるの明敏なる電氣時代の必ず襲來すべきを觀測して、直に自家の取るべき針路を決定せり。以爲く銅の需要必ず大に起らん。宜しく先づ銅山を買收すべきなりと。

經驗なく智識なき盲目の賣手は、持て餘したる銅山を抱て、蟻の如く渠の周圍に集り來りぬ。渠は細心なる選擇を以て、有望ならざる者は悉

直に趨勢を察す

細心と大膽

く之を斥け、而して其有望なるものに對しては、大膽なる投資を以て續々之を買入れぬ。或ものは期年ならずして十倍の價值となり、或者は數年ならずして百倍の價值ともなり、或者は今日に至て千倍萬倍の價值を示すに至れり。現時殆んど十億圓の價值を有すと稱せらるゝ世界第一のヴェルテ銅山の如きは當初僅に十萬圓にて渠の手に落ちたるものなりといふ。

成功の實質

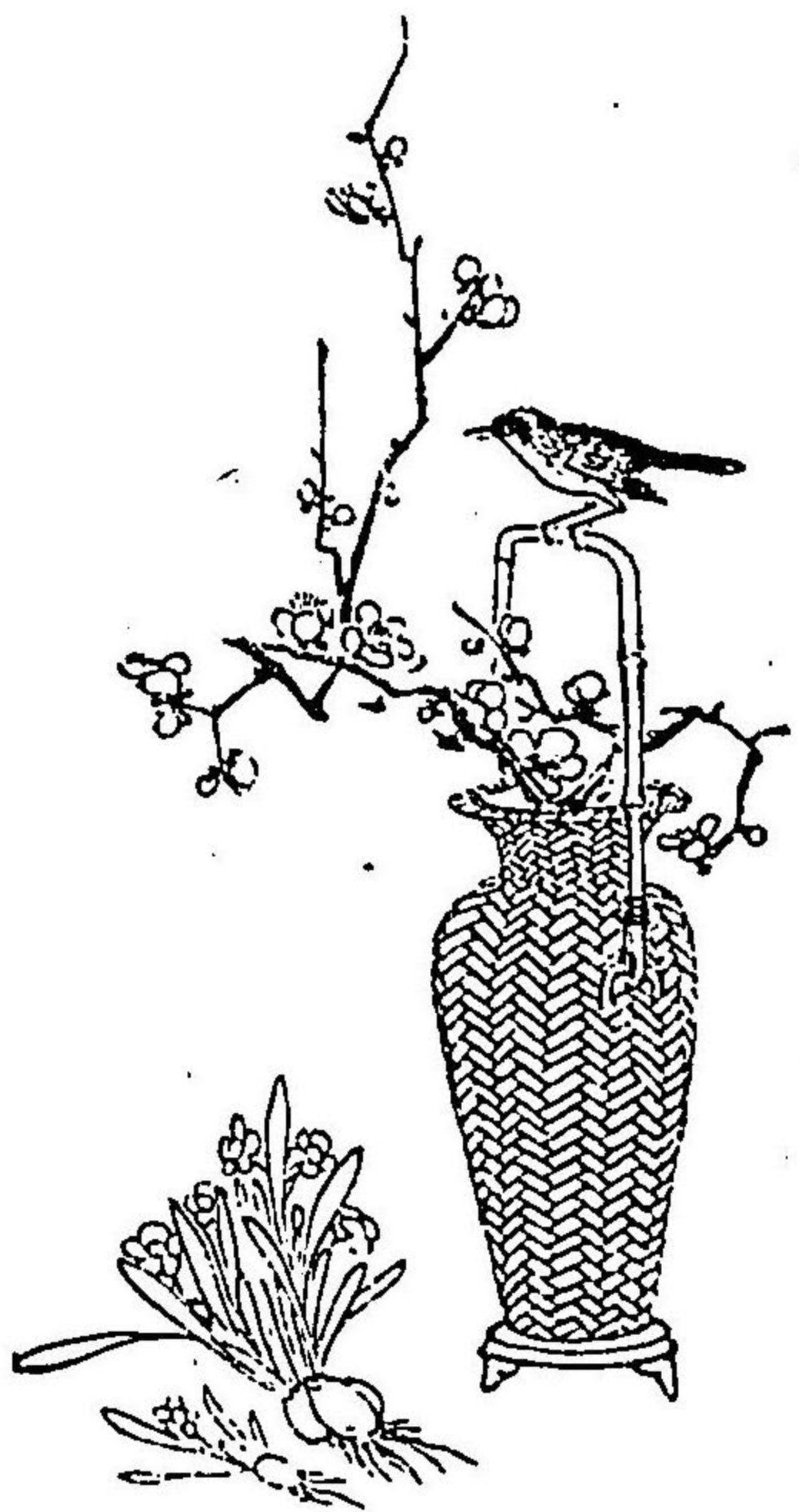
銅山王の成果を見る者は、皆渠の幸運を羨稱す。聞くモンタナ地方に於ては「クラーク的幸運」の流行語すら傳へられたりといふ。渠は殆んど幸運の別名となれり。嗚呼果して然る乎。何ぞ其れ然らんや。

幸運者とは他の山中に彷徨して偶然にも良好なる鑛脈に掘り當てたるクリードストラットンの如きをいふなり。渠の如きは多年實驗の

クラーク的幸運

幸運と成功の別

競場[▲]に於[▲]て事業[▲]に必要[▲]なる才力[▲]を鍛錬[▲]し、更に實際[▲]の智識[▲]と學問[▲]の修養[▲]とを積み、凡そ事業[▲]の經營[▲]に必須[▲]なる性格[▲]、才能[▲]、智識[▲]等の要素[▲]は悉く之[▲]を具備[▲]し、然る後[▲]其企業[▲]的膽勇[▲]と冒險[▲]的氣象[▲]とを以[▲]て遂に成功[▲]を獲得[▲]せるもの、即ち其成功[▲]たる一に自造[▲]の賜[▲]にして、決して幸運[▲]僥倖[▲]の致す所[▲]にあらず。吾人の渠[▲]に學ぶべき所[▲]其れ茲[▲]に在[▲]る歟。



煙草王 ジェームス、ビー、ジューク

一貫的成功

(一) 貴賓會場疑問の一紳士

昨年米國に於て獨逸皇室御召の遊船進水式あり。獨逸皇太弟の遠く海を渡りて、式場に親臨せられたるを機とし、米國全州に於ける知名の大實業家を紐育に會して、貴賓歡迎の大會を けるとあり。モルガン、ロックフェラー以下富豪の來會せる者數百人。中に一人の紳士あり。年齢四十三四。其巨大なる頭顱、廣濶なる前額、隆然たる鼻梁、強項なる頸筋、殊に其銳敏にして、瑠璃の如き兩眼は、一見して直に其尋常人にあらざるを識認するを得べし。唯、來會者の多數に取りては、曾て見覺なき生面の紳士にして、其何人なるかを知らざる者すら少からざりき。

顔を識ら
れず

名刺を交換するに及びて、始めて其現時四大トラストの一なる米國煙草會社の社長ジエームス、サエークなるを知ることを得、覺えず容を改めて、畏敬の念を増したりといふ。渠は名を知らるゝに於て極めて有名なると同時に、顔を識られざるに於ても又極めて有名なり。焉んぞ知らん。渠が顔の多く人に識られざるは、則ち渠が名の高く世に知らるゝに至りし、一原因ならんとは。

(二) 事業は渠の情人なり

米國の富豪、一代にして其名を成したる者、皆多くは當初其職業と境遇とに於て幾多の變遷種々なる移動を経、然る後漸く其命運に逢着することを得、茲に始めて生涯の事業を捕捉して大成せる者にあらざるはなし、渠に在ては則然らず。其尙髫童の幼時より、其既に大成せる今日に至るまで、終始一貫、一代一業、唯煙草事業に従事するの外、決して一時

終始一貫

生命天國

妻を娶ら
ず

たりとも他の境遇に身を置くこと、あらざりき。渠の煙草事業に於けるは、幾んど情熱し、血沸ける青年が其最愛の情人に於けるが如し。好むといふよりも寧ろ嗜むといふを當れりとす。愛すといふよりも寧ろ淫すといふを當れりとす。渠は熱心に満足せずして、寧ろ沈湎するなり。勤勉に満足せずして、寧ろ流連するなり。若し煙草事業は渠の生命なり天國なり。否、幾んど最愛の情人なり。若し一時間たりとも平日より早く事務所を去らざるべからざること、あらは則ち快々として樂まざるなり。渠は釣らず、獵らず、遊船を浮べず、自動車を驅らず、多くの社交を求めず、殆んど何等の道樂をも有せざるなり。豈啻に道樂のみならんや。渠は年既に四十を過ぎて、未だ妻を娶らず、隨て家庭の快樂すらも亦未だ之を有せざるなり。渠は何物をも愛せず、其滿身の愛情は擧げて悉く之を事業に傾注す。自から曰く「如何なる道樂も決して事業に對する程の愉快を感ずる能はず」と。渠の顔が

多く人に識られざるは實に之が爲なり。而して渠が初より此事業に執着して、遂に今日の大成を見るに至りたる亦實に之が爲ならずんばあらず。

少年の意氣

(三) 煙草小舎にて成長す

渠は千八百五十七年米國北カロライナ州ダーハム市の近村なる一農家に生れぬ渠は末子なりき。生れて未だ四歳ならざるに南北戦争の破裂あり。父は地方的關係より、戦を執て南軍に投ぜざるを得ざるに至り、已むなく所有の土地を同村の農家に賣り、家族を祖父母の保護に托して戦地に向ひ、硝煙の間に暴露すること幾んど二年。和成るの後、歸て葉煙草の行商を始め、既にして又己が所有せる倭小なる穀倉の内に煙草製造所を設け、日々穀倉の中に在りて製造に従事すること暫く

生地

煙草製造所

生涯の嗜好と熱望

先天的企業家

幼年の小話の一

年あり。渠は當時尙頑是なき小兒なりしかども、日々此穀倉に出入して、或は袋を貼り、或は粉末を掃除し、父の手傳に日を暮しつゝ、遂に奪ふべからざる嗜好と熱望とを、やに臭き煙草の中に見出しぬ。

(四) 渠は先天的企業家なり

渠は先天的企業家なり。其充滿せる精力と勇猛なる氣力とによりて組成せらるゝ猛烈なる企業的欲望は、暫くも手を拱して時局の展開を待つこと能はず。自から手を下して機會を作り、進んで事を起し、以て其企業的欲望を満足せしむるにあらずんば止まざるなり。

渠の少年時代に於ける一小話は、以て其企業的精神の幼少より如何に熾烈なりしかを推測するに足るものあり。一日渠は家に在りて牝鶏が家鴨の卵を孵化せるを見たり。偶々卵兒の内部より徐々外殻を啄破して自から外に出でんとするあり。渠は之を傍觀して遂に遅緩し

性格躍如

さに堪へず。自から手を假して卵殻を破り、中より雛兒を引出して牝鶏を驚殺せしめたることありといふ。説の眞偽は深く究むるの要なし。唯此小話能く渠の性格を描寫して咄々眞に迫るを見るなり。

(五) 『大丈夫當に此の如くなるべし』

志氣と立

昔、那勃翁の猶少なるや、途に一將校の勳章を閃めかし肥馬に鞭ちて、髮の如き大道を疾驅するを觀、涕立半頃、目送覺えず獨語して曰く『余も亦早晚彼の如くなるべし』と。立志の動機は往々此の如き現象に點火せられて、瞬間に發露すること少なからず。

大志の發露

聞く渠猶少年の頃曾て友人と相携へて、スタンダード石油會社の大倉庫の前を過ぐ。其巍然として空に聳ゆるの建築、其峯然として數十町に跨るの工場、其燦然として人目を眩すべき煉瓦の彩光を見て、顧みて友人に謂て曰く『大丈夫當に此の如くなるべし』彼の大倉庫の如きもの

企業的大望

こそ則余の將に煙草業に於て獲んと欲する所のものなれ』と。言ひ終て意氣頗る昂然たりしといふ。渠は少年時代より既に此の如き企業的大望を有し居たりき。

(六) 渠の大學は社會なり

十八歳

既にして父の煙草事業は、二兒の協戮によりて、日を追ふて盛大となり一家歡笑の間に渠は十八歳の春を迎へぬ。

教育

渠は教育といふ教育を受けたることなし。初め父の戦地より歸り來るや、頻りに共和黨賛成の政見を發表して遂に郷人の憎惡を買ひ、爲に渠は自村の學校にすら入ること能はざりき。父は頗る渠の薄倖を憫み、今や家産の漸く裕かなるを機とし、渠を大學に入らしめ、以て其好む所を恣にせしめんと欲し、乃ち告るに其意を以てす。窃に豫期して以爲く、渠必ず驚喜禁ずる能はざるものあるべしと。渠の答は實に父の

大學に
入るを
欲せ

煙草王ジョージ・ヘンリー・ハーク成功の表裏 三三〇
意外に出でたり。辭して曰く「兒は大學に入るを欲せず、社會は則是兒の大學にして煙草業は即是兒の教師なり。兒は大學に入らんよりも寧ろ家業の一株を割愛せられんことを望む。是最大の願なり」と。父は聽て且驚き且其言を奇とし乃ち其請を容れて、幾分の株を渠に分け與へ、暫く其欲する所にまかしぬ。

成功の表裏

(七) 米國を席卷し歐亞を侵襲す

渠は之によりて愈々一箇の小實業家となれり。滿身の精力、滿腔の氣力如何んぞ飛舞生動せざるを得んや。之より渠は其生命を全然其事業に托し、時に職工となり、時に掃除夫となり、時に車力となり、時に販賣者となり、粉骨碎身、殆んど寢食を忘れて、日夜其業務の繁榮を圖るに汲々たりき。

活動始る

粉骨碎身

繁榮又繁

競争力

トラスト

千八百七十七年費府建市百年紀念博覽會の開催せらるゝあり。渠が多年の汗血を濺いで精製せる出品は、此一舉によりて忽ち世上の喝采を博し、數年ならずして其資本は一躍百萬圓を超え、又數年ならずして一千萬圓の巨額に上り、遂に米國に於ける五大煙草會社の一に數へらるゝに至りぬ。
渠が競争力の猛烈なる、其一たび戰鬪を開始するとき、如何なる強敵と雖も、必ず之を屈服せしめずんば已まず。渠は千八百八十九年を以て遂に米國の十五煙草會社を合同せしめ、今猶有名なる亞米利加煙草トラスト、茲に成る。其資本總額一億五千萬圓、製造煙草の年額三億斤、其使用する職工十萬人。而して其勢力は既に米國を席卷して、餘勢更に遠く歐亞に波及す。就中其英國に突貫して端なく、一大商戰を開始し、遂に之を征服したるが如き、其計畫の大膽なる、其手段の猛烈なる、實に時人の毛髮を豎てしむるものありしといふ。

煙草王ジョージ・ヘンリー・ハーク成功の表裏

(八) 注目すべき二箇の特色

廣告術
敏捷

渠が此の如き成業に達したる順路に於て、注目すべき二箇の特色あり。斬新なる廣告術は其一なり。巧妙なる統御術は其二なり。當時の米人は未だ多く廣告の効用を知らず。獨り渠の敏捷なる逸早くも博覽會の教訓によりて、廣告の有効疑ふべからざるを識認し、爾來新聞に雑誌に有らゆる手段を盡して斬新なる廣告を掲載し、又立札に引札に、奇抜なる趣向を凝らして廣く花客の注意を惹き、之が爲にはたとへ多額の經費を要し、長久の年月を費すも、決して屈撓せざりき。曾て其苦心の意匠に成れる「ミックスマチエア」の如きは、十年の長きに亘るも、猶且廣告の効果を見る能はず、損耗相續き、遂には其愚を嘲笑する者あるに至りし程なるも、渠は自信を固持して敢て屈することなく、益々經費を投じ、意匠を凝らして、飽くまで廣告を利用し、遂に愛煙家の反響

廣告料二
千五百萬

部下の優
待

部下感激

を喚び起し、今日に於ては米國にて需用する刻煙草の總額五分の一は、此煙草を以て占領するの盛況を呈するに至り、十年の苦心も一朝にして恢復することを得たり。今日渠が廣告に費す所は、平均年額二千四百萬圓に上るといふ。

(九) 渠も亦英雄の消息を解す

渠の敵に對するや實に夜叉の如く猛烈なり。然れども味方と部下とに對しては又菩薩の如く柔和なり。渠は部下を好遇し、味方を優待し、直に胸襟を披瀝して、赤心を人の腹中に置く。故に部下又感激して奮勵努力以て死力を出すに至る。

聞く、我煙草商江副廉三曾て米國に遊び、渠の招く所となりて其別荘に趨く。最寄の停車場にて汽車を下げば、世界の煙草王は既に馬車を備へて自から出て迎へ、手を握て共に車に上る。車上別に御者のあるな

自から御
者となる

成功の秘
訣

四方の志

抱負あり
經歷なし

煙草王ジエームス、ピーナユーク成功の表裏

三三四

し。渠自から身を躍らして御者臺に上り、日東遠來の賓客を載せて自
から執鞭の勞を執りぬ。江副感激覺えず泣下る。歎じて以爲く渠が
成功の秘訣主として此機微の間に在りと。果して然らば渠も亦英雄
人を用ゆるの消息を解すといふべし。

抱負と實行

『丈夫四方志。四十未成家』是唐人の豪語なりと雖も、亦以てヂエー
クの抱負と身世とを説明するに足るものあり。

曾て一新聞記者あり、渠を訪ふて其經歷を聞かんことを求む。渠辭し
て曰く『余は抱負あり、然れども未だ經歷なし。將來或は何事をか語る
べきものを有するの日来らん。然れども今日は未だ何等の語るべき
ものを有せず』と。

見る影もなき煙草屋の一貧兒は、其自助獨力によりて、遂に世界の煙草

住宅

洛陽の一
書生

實行

王となれり。渠の經歷より一切の暗黒なる行動を除去するも、豈語る
べき光明の履歷なからんや。唯渠の抱負の遠大なる、今日の成功を以
てして猶且満足せず、遼遠なる前途の目標を望んで、一意専心之に向て
直前しつゝあり。未だ足を停めて過去を語るの暇あらざるなり。

渠は四十を超えて未だ娶らず。其別荘は千六百エーカーの廣きに亘
るも、住宅は其馬車小屋の半にだも及ばずといふ。富王侯を凌ぐの身
を以て、尙洛陽書生の狂態を學ぶ、四方の志胸中に鬱勃して、未だ飽暖を
思ふの暇なきの致す所にあらずや。

聞く渠常に人に語ていふ、成功の捷路は一に業を愛すに在り。人若し
成功を望まば、必ず其業をのみ愛して他の事物を愛すべからず。是真
理なり、成功の唯一方法なり』と。渠は即それ也。

煙草王ジエームス、ピーナユーク成功の表裏

三三五

砂糖王 クラウス、スプレツケルス

移民的成功

(一) 在米移民の最大成功者

移民の最大成功者

運命開拓の志望を抱て、世界の各地より米國に移住する者年に幾十萬而して實業界に於ける成功者の最近にして且最大なる者を砂糖王クラウス、スプレツケルスとなす。

二 精糖界の二分野

米國の精糖界は、今や明かに東部西部の二分野に分割せらる。東部の精糖事業は悉く米國精糖トラストの權下に合同せられて、パツマイヤ一之を統轄し、而して西部の精糖事業は此トラストに反對して、別の一の聯合を爲し、スプレツケルス實に之が將たり。

兩雄

單に事業の大小を論ずれば、資本に於ても、生産に於ても、後者の支配す

精糖王の

る所は未だ前者の統轄する所に若かざるものあらん。然れども兩者の人格並に成功の順路に就て之を見るときは、後者の優、前者の劣、日と同ふして語るべからず。況んや此兩者は既に一たび一大角闘を試み、結局遂に前者の乞和に終れるをや。又況んや東部の漸進にして西部の急進なる、事業の大小すら、或は遠からず今日の位地を顛倒するに至るを保すべからざるをや。米國精糖王の冠冕は、遂に、此移民的成功者の頭上に落ちざるを得ざるなり。

成功の原動

(二) 決然として米國に渡る

獨逸人の

渠は獨逸人なり。千八百二十六年ハノーヴァーのラムスタッドに生れぬ。

渠は少時より強壯なる軀軀と剛健なる心志と、充滿せる精力とを有し

渠が理想の人物

渡米

心細き境

何等の恃むべきなき

砂糖王クラウス、スプレツケルス成功の原動力

三三八

純粹なる獨逸氣質を代表せる有爲の少年なりき。夙に國人ジョン、アスターが青春の身を以て、決然米國に移住し、遂に絶代の富豪となりたる事蹟を欽慕し、壯遊の志鬱勃として止むべからず。而して一方には又徴兵制度の其身を束縛して、宿昔の志望遂に畫餅に歸するに至らんとするを慨し、十八歳の春を以て、愈々米國移住の志を決し、獨逸人の通性たる無限の離愁に纏はれつゝ、萬里の波濤を凌ぎて米國に渡れり。

(三) 囊中の有する所僅に三弗

同船の移民は頗る多かりき。然れども囊中の空しきこと、且は前途の心細きこと、此十八歳の獨逸青年の如きは、又一人もあらざりき。同船の移民は、皆何等かの恃むべき者を前途に有したり。或は親戚を恃み、或は友人を恃み、否らずんば囊中の暖かきを恃み、何れも皆多少の人意を強くするに足るべきものを有したり。獨り渠は唯天涯の茫茫

僅に三弗

精力堅忍
自信不屈

たるを見るの外、何等の恃むべき者をも有せざりき。

船の米國に到着するや、人は皆其恃む所に向へり。然れども此憐むべき獨逸青年は、空しく陸上に茫然として殆んど何れに向ふべきかをすら知る能はず。衣囊を檢すれば、左方には唯食ひ餘したる砂糖の片塊あり。右方には僅に遣ひ残せる三弗を餘せるのみ。誰れか又當時に於て此一青年が現在移民の最大成功者となり、米國の砂糖王となることを豫期せし者あらんや。

(四) 渠の豫想は果して違はず

然れども此青年は他の同行者には見るを得べからざる剛強なる精力と堅忍の資質とを有したり。同船の移民には見るを得べからざる堅確なる自信と不屈の氣象とを有し、之を以て運命を開拓す、三弗は寧ろ多きに過ぎたり。

砂糖王クラウス、スプレツケルス成功の原動力

三三九

開運

渠は或食料品店に雇はれて、先づ飢渴の憂を免かれぬ。爾來或はチャールストンに赴き、或は紐育に出て、幾多の辛酸を嘗め、幾多の變遷を経、歩一步開運の方向に向て進みぬ。渠の豫想は果して違はざりき。此國には渠の運命を束縛すべき徴兵制度なく、渠の活動を抑制すべき階級的偏見なく、功名利達の門戸は常に開放せられ、唯各人の自から進んで來り取るに任すを見たり。居ること未だ幾何ならざるに、渠は其必死の勤勞に對して、着々正當の報酬を受取るに至りぬ。

運命の開展

(五) 遂に生涯の事業を發見す

既にして渠は其勤勉と節儉とによりて蓄積せる若干の資本を懷て、極西なる太平洋岸に赴けり。運命の神は此處にて久しく渠の來るを待ち居たるなりき。

四部に赴く

十萬圓を儲く

桑港には鑛山發見の餘澤滔々として流入しつゝあり。好運を求めて西來する移民は、日に一村を作り、月に一市街を作り、人口の増殖、文明の進歩、殆んど日毎に面目の新なるを見る。渠は此機運に乗じて、先づ食料品店を開き、次で醸造事業を起し、數年ならずして其資本は十萬圓を超えたり。

然れども渠は固より之に満足する者にあらず。其尙紐育に在るの日より、東部の資本家が、精糖事業によりて莫大なる利益を獲得しつゝあるを知れり。桑港に來るに及び、西部の日を追ふて開明に赴くに從ひ、砂糖の需用も亦之に隨て必ず増加すべきを見たり。殊に桑港の地たる、砂糖の原料産地たる太平洋中の群島と、相距ること最も近く、而して精糖の本場たる東部の諸州と相距ること最も遠く、實に一大精糖所の脚起すべき天與の好地たるを看取せり。渠は遂に生涯の事業を茲に發見し、乃ち視察と準備の爲、再び紐育に赴き、事業を研究し、器械を購入

天與の好地

海灣精糖所

砂糖王クラウス、スプレツケルス運命の開展

三四二

し、歸來、海灣精糖所ペリシニガリ、フアイナリを設立して、精糖業者となれり。

(六) 彼得大帝の故智を學ぶ

工業界の一勢力の彼得大帝の故智

九年の長きに亘る堅忍は、やがて渠をして西部に於ける工業界の一勢力たらしめぬ。然れども渠の理想には常にジョン、アスターあり。渠の大志は決して此の如き小成を以て満足せしむるを許さず。此に於て彼得大帝の故智を學び、今や既に成功の途上に在る海灣精糖所を賣拂ひ、世人の且驚き且訝る間に、飄然として去て往く所を知らず。

職工となる

一大精糖所を設く

既にして渠は忽然として獨逸のマグデベルグの精糖所に在り。前きの海灣精糖所主は、今や職工の間に伍し、粗服を纏ひ、劇働に服し、汗に汚れ、塵に塗れて、復た前日のスプレツケルスを髣髴すべくもあらず。一年の後、渠は又忽然として桑港に歸り來れり。世人は渠が舉動の端倪すべからざるを見て、且驚き且訝る間に、一大精糖所カリフォルニア、ペリシニガリ、フアイナリは加州精糖所の

名の下に設立せられたり。其器械の精良なる、其製造方法の新奇なる、皆米國に於ては見るを得べからざるなり。他の精糖所が三週間を費して漸く製造する所のものも、渠は僅に二十四時間にて之を精製するに至りぬ。世人は始めて前日の疑問を解釋したり。皆曰く『畏るべき人なり』

(七) 世界第一の甘蔗栽培地

布哇

我日本移民の出稼地たる布哇島は、渠が精糖原料の最大産地なり。渠の支配するマウイ島の耕地の如きは實に世界第一の甘蔗栽培地と稱せらる。

布哇の大荒地

千八百七十六年米布互惠條約成るや、渠は自から希哇に渡航し、國王を説て、一萬エーカーに亘るの大荒地を得、此處に五十萬弗の資本を投じ、三十哩の溝渠を鑿り、三十箇所の墜道を穿ち、辛苦堅忍の結果、此大荒地

砂糖王クラウス、スプレツケルス運命の開展

三四三

壯觀

を續じて遂に大良地とならしめたり。
マウイ島の耕地に至ては方四萬エーカー、其廣袤殆んど布哇の耕地に
四倍するものあり。而して其甘蔗の豊饒密叢せる、長さ十五哩、巾數哩
に亘る廣大なる面積を掩蔽して、瀾望一色又一の空地を留めずといふ。

(八) 剛氣勇畧トラストを擊破す

現夢の實

渠の夢想は遂に實現せられたり。加州精糖所は十年ならずして西部
の精糖界を席卷し以て東部の精糖界と相對抗するの盛運に達したり。
兩雄並び立たず。此に於て、ハヅマイヤーの起て東部の精糖トラスト
を組織するに及び其強大なる勢力を挟みて、一舉西部をも併呑せんと
欲し、先づ加州カリフォルニアに在る亞米利加精糖會社を買收し、之に力を添へてスプ
レツケルスと競争せしむ。則東部に於て得たる利益を西部に廻はし、
此くして砂糖を非常の廉價に販賣し、渠をして競争に堪へざらしめん

競争始まる

としたるなり。是トラストの慣用手段にして、此戰略の應用せらるゝ
所未だ曾て破れざる者あらざりき。皆曰くスプレツケルス豈能く久
しからんやと。

屈屈せず

シビオの
故智

然れども渠は奮然之に應戦し、敢て屈するの色あらざるなり。而して
トラストが益々手段を猛烈にし、競争を激烈にし、以て頻りに渠を窘め
んと謀るや、渠は羅馬の英雄シビオの故智を學び、西部の戰線を其股肱
に委ね、己れは一千萬圓の軍資を懐にして、落機山ロッキンを越え、懸軍長驅直に
敵の中堅たる費府に赴けり。世人は皆渠が何を爲すべきかを怪み、或
は和を乞はんが爲自から征行したるものなるべしと揣摩する者すら
ありたれども、何ぞ圖らん、渠は此一千萬圓を以て費府に世界第一の精
糖所を設立し、東西相應じて、規模の廣大、器械の精良、品質の佳良を以て
敵を縦横に惱まし、決戰四年、遂にトラストをして窘窮和を乞ふに至ら
しめぬ。由來強大なるトラストと對戦して、能く之を擊破せる者唯渠あ

送勝利
を得

るのみ米人皆其勇敢と智畧とに驚歎す。

成功の教訓

米國は機
會の國土

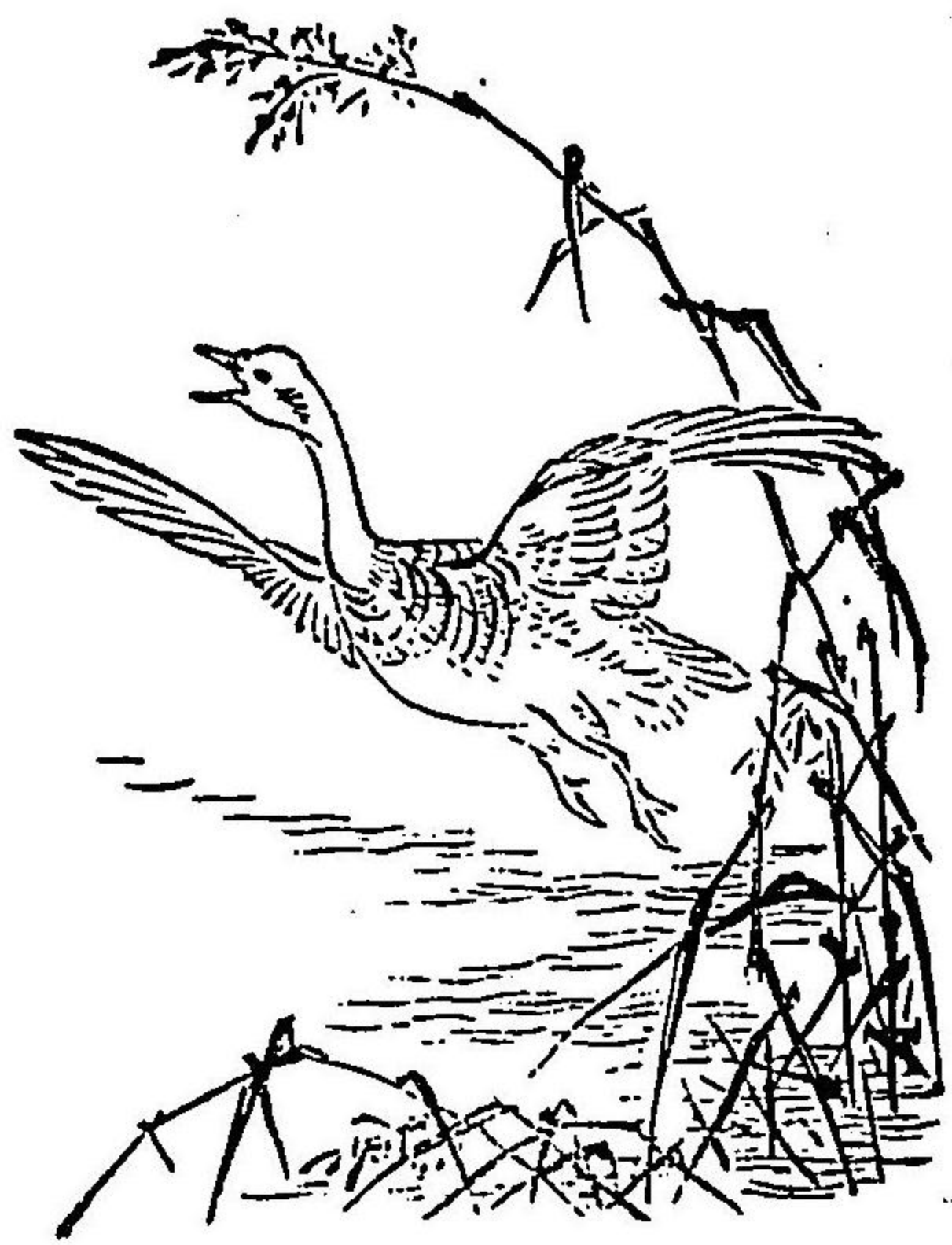
成功者少
き所以

スプレツケ
ルスの教訓

エマソンは曾て米國を稱して『機會の國土』なりと謂へり。スプレツケルスの渡米以來既に四十五年。人口は増殖し、遺利は開堀せられ、機會の多少、成功の難易、固より輕々に論斷すべきにあらずと雖も、米人の所謂才器能力用ふれば必ず報酬を得るの地、米國に若くなきこと、今も猶昔と異なる所なし。邦人の現に米國に移住する者既に萬を以て數ふ。而して成功者の世に聞ゆる者未だ甚だ多からざるは、畢竟精力氣力殊に堅忍力執着力の足らざるものあればなり。

スプレツケルスの初めて米國に上陸するや、囊中餘す所僅に三弗。親戚の恃むべきなく、友人の頼るべきなく、唯孤行單立、拮据四十年。遂に今日の成功を見るに至れる所以のもの、豈啻に才能智略の凡衆に秀拔し。

せるが爲のみならずや。渠の經歷を観る者亦以て鑑みる所を知るべし。



砂糖王クラウス、スプレツケルス—成功の教訓

護謨王 チャールズ・プリント

多能的成功

(一) 何ぞ其の多能なるや

多能の意

「多能」の意義を明瞭に知らんと欲する者は須からく米國の護謨王チャールズ・プリントを見るべし。

渠は普通護謨王として多く世に知らる。然れども護謨王は決して渠に對する適當の稱呼にあらず。渠の統轄せる護謨事業は米國に於ける最近發達の一大事業なるも、渠に在ては僅に自己の一部にして全部にあらず。之を單に護謨王と呼び去るには、渠は餘りに多くの事業に關係す。

渠は木材のトラストを組織せり。自轉車のトラストを組織せり。銅

トラストの父

鐵のトラストを組織せり。其他大小の事業に精通し、而して此等の關係者と聯絡し、或は協同し、或は合同せるもの殆んど數ふるに勝ゆべからず。故に渠の事業を知る者は、又之を「ファーザー・オブ・トラストの父」と稱することあり。

多能に驚く

實業外の多能

然れども「トラストの父」も亦猶未だ適當の稱呼にあらず。渠は各國との貿易に精通して、又之に關係せり。銀行事務に熟練して、又之に關係せり。交通事業に通曉して、又之に關係せり。人は皆其多能に驚く。然れども是等は僅に其實業界に於ける多能の方面のみ。實業界に於ける多能は渠の半面にして、全面にはあらざるなり。渠は紐育大學の評議員なり。米國の智利國代理公使たり。米國の中米共和國總領事たり。法學者なり。雄辯家なり。新聞雜誌の投書家なり。此の如きはカーネギーの多智、モルガンの多才も、猶且三舍を避けざる能はず。何ぞ其多能なるや。

護謨王チャールズ・プリント 多能的成功

多能の概観

(二) 學生時代に於ける特色

順境の學生

渠は千八百五十年を以て、メーソン州のトーマストンに生れぬ。其少年時代はモルガンと同じく、銀匙を口にし、學校の制服を身にして正則の教育を受けたる順境の學生なりき。

數學の才

渠頭腦透明而して勉強衆に超ゆ。如何なる學校と雖も、渠の手に餘りしものは一も之なく、如何なる難問題と雖も、渠の解説するを得ざりしものは殆んど見る能はず。殊に、數學に、長じ、數字を擒縱するの自在なると、難題を征伏するの快捷なるとは、渠の最も得意とする所なりしといふ。

精力と活動

然れども渠の學生時代に於ける最大特色は、其精力の過絶なりしと、其頭腦の能く活動したるに在り。朝は何人よりも早く足き、夜は何人

活動則成

よりも遅く寝ね、同じ一日の間に於て、他人よりも多くの書を読み、他人よりも多くの遊戯を爲し、終日心身を活動回轉せしめて、毫も疲勞の色あるを見ざりしといふ。渠の多能は、固より天分の人に秀づるものあるに由るべしと雖も、其活動の過絶なる、亦實に之が一大要因たらずんばあらず。

(三) 活動界の千手觀音

重なる事業

渠は十八歳にして優等生の名譽を擔ふて學窓を出て、先づ船渠の書記となり、直に身を實務社會に投じたり。船渠の書記より、千手觀音の今日に至るまで、渠の經歷し、關係し、成功せる事業は到底茲に數へ盡すべくもあらず。吾人は唯渠の才能と事業との一斑を窺ふに足るべき事實の最も重大なるものを數へて満足せざるべからず。

渠は二十歳にして既に獨立の計を立て、先づ友人と協戮して、ギルクラ、スト、フロント商會を組織し、二十一歳にして既に二三商會の組合人となり、以て各種の事業に關係するの端緒を開けり、爾來或は伯露^{ベリユ}に赴き或は巴刺西爾^{バラス}に遊び、以て有望なる護謨事業の原料に就て視察する所あり。二十四五歳にして智利駐劄の米國代理公使となり、次で中米共和國の總領事となり、以て中南米に於ける産業の實況に精通することを得たり、歸來再び實業界に入り、偶々事業合同の機運漸く盛ならんとするを見て、千八百七十八年初めて木材事業の合同を組織し、次で護謨の事業を起し、千八百九十年華盛頓に萬國貿易會議の開かるゝや、米國を代表して米國々際銀行の設立を立案し、次で又米國の臨時公使として巴刺西爾との互惠條約を締結し、千八百九十二年には遂に多年の宿望たる護謨事業の大合同を組織し、凡そ護謨の製品に關する者は悉く之を其一手に占領し、又此勢に乗じて、フロント商會の貿易事務に大擴

張を加へ、之をして、米國に於ける輸出商會の最大なるものとならしめたり。

其他渠の關係せる事業は殆んど枚擧に遑あらず。渠は桑港紐育間の汽船會社を起せり。各地の市街鐵道を起せり。電燈會社を起せり。諸他の銀行商會の重役となれり。若夫自轉車會社の合同、銅鐵會社の合同、鐵管會社の合同、燒糖會社の合同、糸卷商會の合同、金剛砂商會の合同、澱粉商會の合同等に至ては、遂に之を數へ盡す能はず。而して是一人の事業なり。嗚呼何ぞ其多能なるや。

(四) 戦時に於ける活動

世界の一隅に戰雲の起るを見るときは、渠は必ず秘密の注文を受けて軍艦の臨時仕入を請負ふなり。日清戦争の際、我が日本が某國より軍艦^{イスマラダ}を購入することを得たるは、實に渠の周旋請負に成りたるものな

是一人の事業

日清戦争

アラビヤ
叛亂

米西戦争

り。千八百九十年の頃、巴刺西爾國に内亂あり。海軍大將メルロー全艦隊を率ゐて叛軍に投じ、政府は狼狽して爲す所を知らず。渠乃ち巴國政府と契約して軍艦の供給を請負ひ、兎に角咄嗟の間に有力なる一艦隊を派遣して、巴國を顛覆の危機より救ひ出したることあり。米國の西班牙と戦を開くに至るや、渠は又直に米國政府の内命を受け、世界の各國に交渉して、或は軍艦を購ひ入れ、或は彈藥を仕入れ、米國をして尠なからざる便宜を得せしめたり。亦以て渠が關係の如何に多方面なるかを察すべし。

多能の面影

(五) 渠はモルガンに似たり

渠の今日までに成し遂げたる事業の廣大なる面積と、多大なる數量を知る者は、何人も渠の齡が猶五十五歳に達せざるを聞て、一驚を吃す

見懸け

精力

才能

モルガン
と渠

急轉的
的旋回

るなるべし。而して渠の精力は又更に其齡よりも若きこと約二十年なりといふ。

渠の多忙なるは固より言ふを待たず。然れども人は渠の多忙に驚くよりも寧ろ能く此多忙に堪ゆる精力の強きに驚く。否其精力の強きに驚くよりも寧ろ好んで自がら此多忙を作り出す才能の多に驚く。渠は此多忙に處して毫も疲勞を覺えざるのみならず、此多忙の間に在りて毫も狼狽の態なく、又毫も錯誤の跡なし。

活動の人たるに於ては、渠モルガンと其揆を一にす。然れどもモルガンの活動は猶閃電の如し。動くこと遠く且大なりと雖も、斷えず動くにあらず。然るに渠の活動は猶風車の如し。動くこと前者の大なるに若かずと雖も、斷えず動いて停止する所なし。而して其活動の急轉的旋回的なるに至ては、兩者又頗る相似たる所あり。

一話

(六) 驚くべき活動旋轉の一例

茲に渠の活動的多能的の半面を髣髴するに足るべき一話あり。昨年ゴットの事なりき。一日紐育の近海に於て、渠の嗜好する遊船の競争あり。多くの選手は皆早朝より其遊船を海上に浮べ、或は其速力を試み、或は必勝の策を按じ、練習準備頗る方むる所あり。然ども渠は此の如き悠暢なる消光を好まず。午前は例日の如く多忙の執務に従事し、やがて一日の用務を驅逐し終れば直に自動車モーターを驅て海岸に電馳し、有名な遊船『飛箭』に飛び乗り、長風一帆、矢よりも早く競争地に馳せ向ふ途すがらも猶、船中にて計畫中の大合同に關する事業の詳細に暗熟し、隨員に向て六箇の談話を語り、十一件の長さ命令書を草し、目的地に到着するや、直に競走を開始し競争の後又『飛箭』にて十三哩を走り、とある海岸に碇を卸し、自から端艇を漕いで海岸に上陸し、自轉車にて或河畔を溯

り、暫時鯉獵を爲し、同地に一泊、天未だ明けざるに、馳せて遊船に還へり、暫時游泳の後、飛ぶが如くにして午前九時前紐育に歸り、直にシカゴ外二箇所と重大なる電話を交換し、終て歐洲へ長文の電報を發し、引續て西部大學のトラストに關する長篇の懸賞論文三通を通讀し、而して後食卓に就けりと。渠が日々の活動旋轉概ね此類なり。

(七) 渠が活動旋轉の半面

渠は日常身邊に三人の秘書を有す。然れども三人の秘書にても、猶且渠の旋轉に追隨する能はざらんとす。渠の事務所には六人の敏腕ある専門學者を有す。是等の専門家は渠の命令によりて、トラストの組織に關する設計を補助するのみなるも、之が爲に又殆んど忙殺せられんとしつゝあり。

渠は常に自動車を驅て往來す。而して渠の活動的なる自動車の空を

三人の秘書
六人の學者

自動車

談談王チャールズ、フリンントII多能の面影

車中の口授

議事整理中の活動

睡眠中の活動

飛ぶ間に於ても猶且無爲にして在る能はず。必ず秘書と車を同ふし
 隨案隨命常に何事をか口授して筆記せしむ。
 渠の關係せる諸會社の重役會議に列するや。常に選ばれて議長とな
 る。然れども議事整理の間にも、渠は電話にて他の事業と交渉し、間隙
 を窺つて或は電報文を起草し、或は何事をか立案しつゝあり。而して
 議事整理の巧なる、多く渠に及ぶものなしといふ。
 若夫事務員が數句の辛苦に成れる調査書類の如きは、渠晝間の多忙到
 底之を見るを許さざるを以て、夜間『熟眠』中に於て之を覽るを常とすと。
 人鬼神にあらず、何んぞ熟眠中に閱覽するの理あらんや。唯渠は之を
 寢室に携へ去りて、僅に就寢前の瞬間を活用するのみ。しかも翌日之
 を見れば朱添墨削、復た些の遺算あるを見出す能はず。

成功の秘訣

朝起家
四時起床

朝食前の
仕事

成功者
失敗者

渠は有名なる朝起家なり。夏季と冬季とを問はず、毎朝四時には必ず
 褥を出て、普通衆人の朝起時間たる午前六時には、必ず朝食を畢る。朝
 は一日中に於て腦力、氣力、精力の最も新鮮なる時なり。渠は此新鮮な
 る腦力、氣力、精力を如何に活用すべきかを知れるなり。
 渠が未明に床を出て、より午前六時に至るまでの間は、實に神聖にし
 て犯すべからざる時間なり。渠は滿身の精力を召集して、一日の重大
 要務を此間に處理し去るを常とす。他人が一日の仕事も渠は他人の
 未だ起き上からざる以前に之を處理し了るなり。
 成功する者は人仕事を追ひ、失敗する者は人仕事に追はる。而して仕
 事を追ふ者は、多く早起の人にして、仕事に追はる者は、多く朝寢の人
 なり。渠の異常なる精力と、驚くべき多能とは、よし常人の企及すべか
 らざる所なきにあらずとするも、其一日中に於て腦力、氣力、精力の最も
 新鮮なる時間を巧に活用するの一事は、萬衆の須からく準則すべき好